

平成 29 年 度

事業 報 告 書

社 会 福 祉 法 人

正 友 会

目 次

	頁
I.法人本部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II.特別養護老人ホーム満濃荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業・・・・・・・・	11
(2) 通所介護事業・・・・・・・・・・・・・・・・	27
(3) 居宅介護支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・	29
(4) その他の事業・・・・・・・・・・・・・・・・	31
1.満濃荘老人介護支援センター	
2.給食サービス事業	
3.生きがい活動支援通所事業	
III.特別養護老人ホーム仲南荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業・・・・・・・・	34
(2) 通所介護事業・・・・・・・・・・・・・・・・	50
(3) その他の事業・・・・・・・・・・・・・・・・	52
1.仲南荘老人介護支援センター	
2.生きがい活動支援通所事業	
IV.特別養護老人ホームやすらぎ荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業・・・・・・・・	54
(2) 通所介護事業・・・・・・・・・・・・・・・・	68
(3) 居宅介護支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・	70
(4) その他の事業・・・・・・・・・・・・・・・・	72
1.給食サービス事業	
2.生きがい活動支援通所事業	
3.ふれあいランド友の会	
4.まんのう町琴南高齢者生活福祉センター	
V.グループホームよりあい	
(1) 認知症対応型共同生活介護事業・・・・・・・・	75
(2) 通所介護事業・・・・・・・・・・・・・・・・	87
VI.デイサービスセンターおひいさん	
(1) 通所介護事業・・・・・・・・・・・・・・・・	90

I . 法人本部

I 法人本部

平成 29 年度は 3 年間の中期事業計画「チャレンジ 2018」の 2 年目として、具体的な目標を掲げて取り組みを進めました。法人委員会を再編成し、前年度に課題として残ったことと少しずつ改善し、継続した取り組みができてきました。プロジェクトチームは、時代の流れに合わせて変化していくことを敏感にキャッチし、期間を決めて重点課題を進めていくことができました。

□利用者サービスの向上

法人理念の理解が深まるよう、研修や会議で知愛一如手帳を活用し、基本的な考え方に基づいて行動や判断ができるようにしました。

全職員がポジショニングの知識と技術を習得できるよう、年間を通じて研修を企画・実施しました。紙オムツを協同組合を通じて購入することになり、メーカーのアドバイザーを講師として迎え、あらためて商品の特徴や性能を確認しました。昨年に引続き「排泄」をテーマにしたリーダー研修を実施し、お一人お一人の状態を的確に把握する「アセスメント」の重要性を学びました。

また、高知県が先進的に進めている「ノーリフティングケア」を学ぶため、幹部職員が視察研修に出向き、職員の労働安全衛生面からも取り組みを進める重要性を学びました。

2 月には介護負担の軽減を目的とした労働局の助成金を申請し、特養 3 施設に走行式リフトを導入しました。初めて使用する際は不安もありましたが、メーカーのアドバイザーに導入時指導をお願いし、職員同士でも体験して使い方を学びました。

通所サービスの利用希望があった場合は、ポジショニングの取り組みで学んだことを、ご利用者やご家族との話し合いでも活用し、担当ケアマネジャーからも評価をいただきました。

□職員の育成と定着

平成 29 年 4 月に就業規則と人事制度を改定しました。夜勤職員の公休数を 7 日から 9 日とし、一日の労働時間を 7 時間 20 分から 8 時間に改めました。日中の職員数が少なくなったことに伴い、仕事の役割分担やスケジュールを見直し、ご利用者へのサービス低下につながらないように対応しました。キャリアパスを改め、資格を持った職種を総合職として統合し、それぞれの専門性を発揮して役割を担うようにしました。また、資格手当や夜勤手当の増額、パート職員への交通費の支給等、介護職員処遇改善加算による介護報酬増額分を有効に活用し、給与面の改善を行いました。

職員研修は外部研修派遣の基準を設け、出張による研修以外に法人が経費の一部を助成する自己研鑽の枠組みをつくり、職員が自主的に学ぶ機会を支援しました。

資格取得に向けて、介護福祉士の受験資格に必要な実務者研修の受講支援を行いました。希望する職員へは受講費の一部を助成し、8～10 日程度のスクーリングに出席できるよう勤務への配慮を行いました。8 名が合格し、介護福祉士有資格者は法人全体で 112 名になりました。

香川短期大学の黒木先生をアドバイザーとして迎え、介護支援専門員事前研修を行いました。自主勉強会と位置付け、受験予定者が勉強できる場所を提供し、模擬試験も実施しました。3 名が合格することができました。

ポジショニング・ノーリフティングケアを重点的に進めるため、介護主任を中心とした指導職を高知県へ派遣し、ナチュラルハートフルケアネットワーク代表理事の下元先生の指導を受けました。排泄ケアの取り組みを2月の組織力向上活動発表会で発表し、1年間かけて進めてきたことを組織全体で確認しました。

職員採用は若い職員が中心となって、新たなアイデアを提案し、時代に合わせた活動に変化しました。施設見学、就業体験の機会を増やし、現場職員が直接関わり、職場の明るい雰囲気や丁寧な対応が採用に結びついています。新卒採用が厳しい中、中途採用を積極的に行いました。採用時に行う研修をスケジュール化し、どの施設に配属になっても仕事に必要な情報をきちんと伝える仕組みにしました。

日本語専門学校に通うベトナム留学生2名を10月より、満濃荘のアルバイトとして受入れました。将来介護福祉士として日本で仕事ができるよう、語学と介護の勉強を続けています。



□地域への働きかけ

地域福祉推進チームを中心に法人内外の情報を共有しました。昨年に引続いて公民館の小学生向けの福祉体験教室への協力や地域で行われる介護教室に職員を派遣しました。地域行事に職員が参加する機会が増えてきています。

よりあいを会場に法人としてまんのう町の「認知症カフェ」を受託し、毎月開催しました。各施設が持ち回りで会を担当し、おやつ作りや体操、認知症に関するお話し等工夫を凝らした内容を提供しました。



東日本大震災の復興支援として、職員による義援金を29年度も福島県社会福祉協議会と公益財団法人オイスカに寄附しました。公益財団法人オイスカは津波で被害に遭った海岸林に松を植えるプロジェクトを継続しています。正友会の寄附に対して団体から感謝状をいただきました。

□組織統治の強化

香川県社会福祉法人経営者協議会が災害福祉支援ネットワークのモデル事業を進めていく中で、昨年度に続いてやすらぎ荘が災害対応マニュアルを作成しました。「さくらネット」の石井布紀子先生をお迎えし、2回にわたって災害が起こった際の初動対応の手順を確認しました。やすらぎ荘では冬場に停電や断水が起こり、学んだことが実際の対応に役立ちました。

仲南荘、やすらぎ荘の建物・設備の老朽化が進み、修繕箇所が増えてきました。仲南荘はバルコニーの手すりを改修し、空調・配管を一部修繕しました。やすらぎ荘は、まんのう町と協議を重ね、30年度に空調設備を主とした改修工事を行う予定としています。

社会福祉法の改正により、組織体制が大きく変わりました。理事会と評議員会の改選があり、6月には理事長が交代しました。40歳代の職員が新たに施設長となり、新理事長のもと、組織がまとまって進むよう毎週の会議で情報を共有し、意識統一を図っています。また、新たに統括課長の役職を設け、より現場に近い監督者が職員の相談に乗れる体制としました。

本部機能は事業企画部門と事務部門で役割を整理し、法人全体で取組んでいく企画や行事の推進体制を強化しました。また理事が法人本部を兼務し、重要事項や懸案事項のとりまとめを行いました。

会計監査人による会計監査に備えて、他法人との情報共有を進めました。公認会計士の助言をいただきながら、組織統制や会計処理について体制のあり方を検討しました。

法人委員会

◇ 研修委員会

- ・企画した研修の冒頭で、研修の目的を明らかにし、知愛一如手帳を用いて、法人の基本的な考え方を確認しました。
- ・法人研修を企画するにあたり、委員3名が担当する体制とし、担当者間での意見交換が活発にできました。
- ・期待する成果と実施結果に差がありました。企画時の検討がさらに必要です。

◇ サービス向上委員会

- ・ご意見受付書の件数が少なくなっており、その意義を再周知しました。メンバー間でもその目的を話し合うことができました。組織全体の意識が向上し、少しずつご意見が挙がってきています。
- ・新たに始まった認知症カフェや各施設の地域行事へメンバーが参加しました。地域の福祉ニーズを把握するために、まずは参加者のお話を伺うことを積極的に行いました。
- ・ご利用者、ご家族へのアンケートは29年度も同様に特養・短期入所、通所、居宅介護支援、グループホームに質問項目を分けて実施し、いただいた回答をもとに施設として改善をすすめました。

◇ リスクマネジメント委員会

- ・施設で起こった特徴的な事故の情報を共有しました。事故を未然に防ぐこと、早期に対応することを検討することができました。
- ・法人全体の合同防災訓練は形を変更し、各施設の連絡体制の訓練を実施しました。実施結果を委員会に持ち寄り、課題を共有することができました。
- ・感染症や経営的なリスクなど検討する範囲が広く、広く職員へ情報発信するまでには至らない事項もありました。

地域福祉推進チーム

- ・地元社会福祉協議会や公民館からの依頼を受け、地域の方を対象とした介護教室を行いました。小学生向けには施設の設備や福祉車両を体験してもらい、介護や福祉に関心を持っていただけるように働きかけました。
- ・法人間連携ではまんのう町・琴平町の社会福祉協議会の担当者と3ヶ月に1度定例会を開催し、現状と課題について話し合いました。正友会と両町社協が中心となって、地元警察とも協議を重ね、「まんのう町・琴平町高齢者等行方不明者情報の協力体制」を作り上げました。他の社会福祉法人にも取り組みに協力いただいています。

- ・グループホームよりあいを会場に、毎月1回認知症カフェを実施しました。まんのう町の委託事業として法人が受託し、各施設担当者が持ち回りで企画・実施しました。毎月楽しみにして参加される方もおり、少しずつ参加者が増えています。



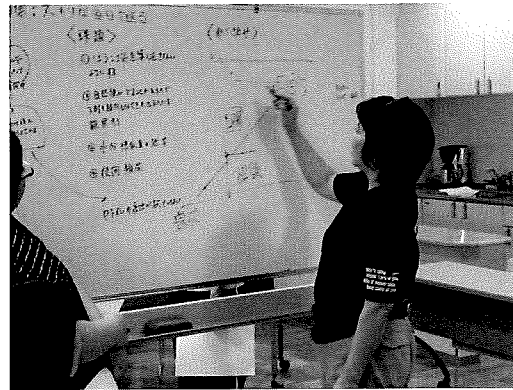
採用活動推進チーム

- ・法人説明会や内定者研修に関わり、若い職員が直接学生と接する機会が増えました。学生の目線に近い職員が施設見学や仕事の説明をし、働く姿をイメージしやすくしました。
- ・合同説明会や法人説明会では、自組織の強みや大切にしていることを学生に伝えることができるよう、会議の中で確認し、準備を行いました。
- ・各施設の見学の際には、事前に現場に声をかけて協力をお願いしました。学生を案内する際は、職員が快く学生の質問に応えてくれました。



ポジショニング推進チーム

- ・ 毎月の定例会で各施設のポジショニングの取り組みと褥瘡の状況を共有しました。推進確認シートを用いてメンバーで確認し、取り組みの参考にしたり、意見を出し合いました。
- ・ 広報誌や担当者会等で福祉用具の紹介や介助についてのアドバイスをを行い、ご本人やご家族の介護負担の軽減につなげました。
- ・ 介護主任が受講した排泄ケア研修を各チームの取り組みにつなげ、医務や栄養士の協力も得ながら浸透を行いました。ご利用者一人ひとりをきちんと見るアセスメントの重要性を学び、多方面からご利用者を見る力がつきました。
- ・ 福祉用具の購入状況と使用しての効果や感想を報告し、各施設で購入する際の参考にしました。施設間で用具を貸し借りし、ご利用者に適したものを選定しました。



広報活動推進チーム

- ・ 職員全体の協力を得て、ホームページのリニューアルを行いました。各施設が最新の情報を掲載する欄も、多くの情報を発信できるようになりました。有効に活用していくことが今後の課題です。
- ・ ロゴマークを新しく作成しました。
職員にアイデアを募集し、デザイナーから示された案を投票し、決定しました。
封筒やパンフレットもデザインを一新し、法人の新しいイメージを発信することができました。
- ・ 3月に社内報「Smile 第7号」を発行しました。メンバーが役割を分担して情報を集め、新理事長のインタビューや留学生の様子を特集記事として掲載しました。



役員会等会議開催状況

日 付	内 容	出席者
4月1日	理事会	書面決議
4月12日	理事会	書面決議
5月16日	公認会計士会計監査	岸上会計事務所2名、職員6名
5月19日	監事監査	監事2名、職員4名
5月26日	理事会	理事6名、監事2名
6月14日	理事会	書面決議
6月20日	評議員会	評議員7名、監事2名、理事1名
6月20日	理事会	理事7名、監事2名
6月16日	苦情解決第三者委員会	第三者委員3名、職員12名
8月19日	理事会	理事7名、監事2名
11月20日	苦情解決第三者委員会	第三者委員3名、職員14名
11月27日	公認会計士会計監査	岸上会計事務所3名、職員4名
12月20日	理事会	理事7名、監事2名
3月19日	理事会	理事7名、監事2名
3月27日	評議員会	評議員7名、監事2名、理事1名

外部への視察、研修、ボランティア等

月 日	内 容	場 所	参加人数
6月17日	高知ふくし機器展・バリアフリーフェスティバル	高知ふくし交流プラザ	ボランティア2名 参加 9名
10月31日	高知家ノーリフティングツアー	ナチュラルハートフルケアネットワーク・トレーニングセンター 特別養護老人ホームうららか荘 ウェルプラザ洋寿荘	外部 1名 職員 13名
12月15,26日	ポジショニングリーダー養成研修	ナチュラルハートフルケアネットワーク・トレーニングセンター	課長・主任15名 管理職 7名

月日	研修内容	参加人員	テーマ(講師)など
4月1日	新入職員研修	7	法人が大切にしていることの確認とこれからの目標について考える時間とした。
4月3,4,11日	人事考課制度研修	33	下半期の人事考課を行うにあたり、考課者が法人の人事制度を改めて確認した。
5月30日	新規採用者フォローアップ研修	7	新入職員が入社後も定期的に集まり、社会人として必要な基礎知識を深めるとともに、同期の職員との交流を通して、所属意識の醸成を図った。
6月27日	新規採用者フォローアップ研修	7	
7月20,31日 8月4,23日	排泄ケア勉強会	125	紙オムツメーカー・リブドゥのアドバイザーの寺尾様をお招きし、全職員を対象とした研修を実施しました。紙オムツの性能や適正な使い方、ホルダーパンツの有効性を学んだ。
8月24日	2年目職員研修	9	入社後1年間を振り返り、達成したことと残している課題をあらためて確認した。また、法人内の制度や基本的な考え方について、グループ討議を通じて理解を深めた。
8月30、31日	ポジショニングリーダー養成研修①	17	下元先生を講師に、特養の介護主任、介護・看護課長を対象に排泄ケアをテーマとした研修を実施した。昨年度から各チームで取組んでいるアセスメントに基づくケアの進捗を確認し、課題を明らかにした。
10月2,4日	人事考課制度研修	14	上半期の人事考課を行うにあたり、考課者が法人の人事制度を改めて確認した。
10月13日	新規採用者フォローアップ研修	7	就職後半年を振り返り、同期生と意見交換やエルダーチェックシートを活用して自分の成長を確認した。また様々な意見を聞くことにより年度後半の課題を明確にし、個々の育成を目指した。
10月17日	エルダー職員継続研修	7	エルダー制度の目的とエルダーの役割の再確認を行った。また、チェックシート・エルダーノートの有効活用とOJTの進め方を学んだ。
11月4日	内定者研修①	2	内定式の後、内定者が社会人になることを自覚する目的で行った。施設見学を通して法人事業の理解を深めるとともに内定者同士の交流を持った。
12月9日	内定者研修②	3	内定者が社会人になることを自覚し、内定者同士・先輩職員との交流を深めて、所属意識を高めた。
12月15,26日	ポジショニングリーダー養成研修②	15	高知県のナチュラルハートフルケアネットワークへ職員を派遣し、下元先生を講師に排泄ケアの取り組みを総括した。ノーリフティングケアの基礎を学び、身体に負担の少ないケアの方法を身につけた。
12月20日	中堅職員研修①	16	中堅職員としての自覚を醸成した。より高い目標を持って仕事や組織活動に参画できるように、自分たちに求められている役割や行動を再認識した。
1月24日	中堅職員研修②	11	中堅職員としての自覚を醸成した。より高い目標を持って仕事や組織活動に参画できるように、自分たちに求められている役割や行動を再認識した。
2月10日	内定者研修③ 接遇・マナー研修	6	講師にアビリティセンターの太田和也氏をお招きし、社会人としての心構えやビジネスマナーの基本について学んだ。また、中途採用者で社会経験が少ない職員も参加し、再確認をした。
2月26日	組織力向上活動発表会	124	日頃チームに分かれて行っている活動をふり振り返り、具体的取組みの課題や成果を整理・確認するとともに、今後のさらなる組織力の向上につなげていくことを目的に1年間の取り組みを発表した。
3月22,23日	新規採用者研修(合同)	2	新入職員が介護職員としての基本姿勢と法人組織の一員としての意識を持てるよう実施した。
3月23日	基本介護技術研修	5	新入職員と一緒に排泄ケア、ノーリフティングについて学んだ。
3月26,27日	新規採用者研修(配属先)	2	配属先においてより実務に沿った研修を行うことで、入社に備えることを目的として実施した。
3月28日	新エルダー研修	2	新しくエルダーとなる職員が、エルダー制度について理解し、新入職員との接し方を学んだ。

職員研修派遣状況

日 付	研 修 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
4月14日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京	事務局長	丸畑 望
4月23～25日	ベトナム現地視察		ベトナム	事務局長	丸畑 望
5月11～12日	アセスメント実践研究会・共通職員意識調査報告会		東京	事務局長	丸畑 望
6月16日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京	事務局長	丸畑 望
7月4日	インターンシップ推進セミナー	高松		事務局長	丸畑 望
7月5～6日	社会福祉懇談会 第47回経営セミナー		東京	理事長	長谷川智一
7月5日	四国経営品質協議会 第2回定例会	高松		企画部長	合田香織
"	"	"		渉外課長	谷口雅宣
7月20～21日	第28回中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー		広島	理事長	長谷川智一
"	"		"	本部長	中川芳栄
8月21日	都道府県経営協セミナー	高松		理事長	長谷川智一
"	"	"		本部長	中川芳栄
8月25日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京	事務局長	丸畑 望
9月8日	社会福祉協議会役員・評議員等研修会	高松		理事長	長谷川智一
"	社会福祉法人役職員研修会	高松		本部長	中川芳栄
9月14～15日	第36回社会福祉法人経営者大会		三重	理事長	長谷川智一
"	"		"	事務局長	丸畑 望
9月22日	四国経営品質協議会 第4回定例会		岡山	企画部長	合田香織
9月25日	高知家統一基本ケアセミナー		高知	企画部長	合田香織
9月25日	香川県よろず支援拠点まんのう町サテライトセミナー	まんのう町		理事長	長谷川智一
"	"	"		本部長	中川芳栄
"	"	"		事務局長	丸畑 望
"	"	"		渉外課長	谷口雅宣
9月28日	福祉サービス苦情解決研修会	高松		第三者委員3名	
10月4日	無期転換等セミナー	丸亀		企画部長	合田香織
10月9～11日	ベトナム現地視察		ベトナム	事務局長	丸畑 望
10月11日	地域の災害支援マップづくりリーダー研修会	高松		渉外課長	谷口雅宣
10月26日	四国経営品質協議会 第5回定例会	高松		事務局長	丸畑 望
10月26・27日	高知家統一基本ケアセミナー		高知	企画部長	合田香織
10月27日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京	事務局長	丸畑 望
10月30日	地域の災害支援マップづくり研修会	高松		渉外課長	谷口雅宣
10月31日	高知家ノーリフティングツアー研修		高知	理事長	長谷川智一
"	"		"	本部長	中川芳栄
"	"		"	事務局長	丸畑 望
"	"		"	企画部長	合田香織
"	"		"	渉外課長	谷口雅宣
11月1～2日	全国経営協 監事専門講座「監事監査」		東京	監事	山下光男
"	"		"	"	久留嶋一之
11月16～17日	四国経営品質協議会ベストプラクティス国内視察団2017		鳥取	事務局長	丸畑 望
11月21日	雇用管理セミナー	丸亀		企画部長	合田香織
"	年金委員・健康保険委員研修会	丸亀		事務員	土岐直子
11月22日	人事労務セミナー	高松		企画部長	合田香織
12月1日	人権問題研修講演会	丸亀		事務局長	丸畑 望
12月12日	災害時安否確認システム構築モデル研修会	高松		渉外課長	谷口雅宣
12月13日	身元保証人不在者対応に関する研修会	高松		事務局長	丸畑 望
12月15～16日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京	事務局長	丸畑 望
1月19日	社会福祉法人の経営労務管理体制強化のための研修会	高松		理事長	長谷川智一
"	"	"		本部長	中川芳栄
"	"	"		事務局長	丸畑 望
"	"	"		企画部長	合田香織
1月29日	社会福祉充実残額算定の検証研修会・都道府県経営協セミナー	高松		理事長	長谷川智一
"	"	"		本部長	中川芳栄
"	"	"		渉外課長	谷口雅宣

日 付	研 修 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
2月1日	社会福祉法人会計研修会	高松		本部長	中川芳栄
"	"	"		経理課長	古川隆子
2月7日	114医療・介護セミナー	高松		本部長	中川芳栄
2月14日	災害福祉支援セミナー	高松		理事長	長谷川智一
"	"	"		事務局長	丸畑 望
"	"	"		渉外課長	谷口雅宣
2月16日	公正採用選考人権啓発推進研修会	丸亀		事務局長	丸畑 望
2月28日	地域共生社会を考えるセミナー	高松		理事長	長谷川智一
"	"	"		事務局長	丸畑 望
2月28日	まんのう町人権・同和問題研修会	まんのう町		渉外課長	谷口雅宣

職員採用説明会

日 付	説 明 会 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
6月26日	かがわーくフェア(就職面接会)	高松		事務局長	丸畑 望
7月4日	福祉のしごとサポートフェア(丸亀会場)	丸亀		企画部長	合田香織
7月6日	定住自立圏域 就職面接会	丸亀		事務局長	丸畑 望
7月8日	かがわインターンシップ合同交流会	高松		企画部長	合田香織
7月25日	福祉の職場説明会	高松		企画部長	合田香織
11月2日	正社員就職企業説明会	丸亀		企画部長	合田香織
11月9日	介護職デイ 介護のしごと就職フェア	高松		企画部長	合田香織
11月29日	業界研究合同企業セミナー	善通寺		企画部長	合田香織
2月8日	福祉のしごとサポートフェア	高松		事務局長	丸畑 望
"	"	"		企画部長	合田香織
3月2日	リクナビ2019 就活開幕☆LIVE高松	高松		企画部長	合田香織
3月8日	かがわーくフェア(春の就職面接会&企業説明会)	高松		企画部長	合田香織

まんまんカフェおよりさん 平成29年度 実績

毎月第4土曜日 13:30～15:30 会場…よりあいデイサービスフロア (参加人数にはボランティアも含む)

開催日	担当	参加者数	参加職員	内容
5月6日(土)	よりあい	14	5	認知症と水分摂取(DVD) 認知症予防フリフリグッパ体操 オカリナ演奏 特殊詐欺の注意
5月27日(土)	仲南荘	19	6	抹茶まんじゅうづくり 認知症予防体操 茶話会
6月24日(土)	やすらぎ荘	16	7	よもぎ団子づくり 認知症と間違いやすい病気の紹介 認知症予防ゲーム
7月22日(土)	満濃荘	16	9	お好み焼きづくり 茶話会 頭と身体の健康体操
8月26日(土)	よりあい	9	5	パナコッタ作り 手作り防災道具 認知症の話(介護者の抱える問題)
9月23日(土祝)	仲南荘	15	6	室内でできる運動会 茶話会
10月28日(土)	やすらぎ荘	15	5	非常米を使ったおはぎ作り 認知症予防効果のあるアロマテラピー紹介 認知症予防ゲーム・体操
11月25日(土)	満濃荘	15	9	ホットケーキ作り 介護保険の説明 身体をほぐすリラックス体操
12月23日(土祝)	よりあい	25	6	ケーキのデコレーション オカリナ演奏 認知症の話(体験としての認知症 認知症が疑われたら 認知症の気づき)
1月27日(土)	仲南荘	14	4	昔の遊び 駄菓子を選んで茶話会
2月24日(土)	やすらぎ荘	12	7	バッククッキングで親子丼・蒸しパン作り 認知症予防体操
3月24日(土)	満濃荘	20	9	介護のあるある座談会(職員による劇を通じて身近にある介護の話) ミニ音楽療法

Ⅱ．特別養護老人ホーム

満 濃 荘

(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

平成 29 年度は、様々な取り組みをスタートさせました。施設ではご利用者と職員の安全・安楽に向けて床走行式リフトを導入しました。また、地域に向けた取り組みとして「満ごころカフェ」を行いました。当初は少ない参加者ではありましたが、回数を重ねるごとに大勢の方がお越し下さるようになり、地域のニーズを直接知る機会になりました。正友会としての新たな取り組みとして、10 月より外国人留学生 2 名の受け入れを行っています。当初は、職員も外国人留学生もコミュニケーションや生活文化の違いに戸惑っていましたが、現在は、良好な関係が築けています。

介護老人福祉施設

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・日々の生活において、ご利用者やご家族に意思確認を行いながら安心して過ごしていただけるように声をかけました。ただ言葉が足らず、お互いの認識が異なり、不安を感じさせてしまうこともあったため改めていきます。
- ・「抱えない」「持ち上げない」「引きずらない」ケアをめざし、ポジショニングのスキルアップを図る目的で研修を行いました。ご利用者の状態に合った福祉用具を使い、不安を軽減しながら姿勢保持や移乗を行うことも定着してきました。毎月、ご利用者の状態がどのように変わっているかを確認しながら進める事で、継続した職員への意識づけにもなっています。しかし、全ての場面で実践できているとはいえないのが現状です。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・ご利用者の状態が悪化した際にはご家族の同席をいただき、各部署担当者との話し合いを行い、ご意向を確認しました。ご本人、ご家族に安心していただけるように、より具体的な対応がお伝えできるようにしていくことが課題です。
- ・ご利用者の状態に応じた機能訓練計画書を作成し、機能維持や残存機能の活用、拘縮予防などの機能訓練を実施しました。

3. 食生活の充実

- ・献立に旬の食材を使用し、委託先栄養士と連携し、季節を感じられる献立を提供しました。
- ・夏にはご利用者と畑の野菜を収穫し、調理しました。
- ・毎月の栄養ケアカンファレンスにて、ご利用者の食事状況や体重の変化から、必要に応じ検討し、食事形態の変更や栄養補助食品を提供しました。
- ・1 か月に 1 度、衛生チェックシートの確認と厨房内の衛生点検を実施し、清掃が行き届いているか、設備面に不備はないか等の確認を行いました。

4. 適切な相談支援

- ・多職種が集まり、ご利用者の状態や支援方法について話し合う機会を持つことができました。ご利用者から施設生活についての要望をお伺いしましたが、お応えする時間が確保できませんでした。

- ・いただいたご意見を真摯に受け止め、施設全体で共有しました。対応が不十分な事もありご迷惑をお掛けしたこともありましたが、それも学びとして共有しました。また、ご意見に対して改善したことが継続できているかを毎月の各部署会などで確認しました。
- ・送迎や配食サービス等で地域に出向いた際に、ご利用者やご家族、地域の方々との会話の中で地域のニーズやお困りごとを積極的に伺うことは不十分でした。

5. 積極的な地域社会との交流

- ・「満ごころカフェ」を3回開催しました。専門職として地域に伝えられる事を考え、内容に取り入れました。より多くの方に施設へ足を運んでいただくきっかけになるよう、オフトークなどの告知方法を考えていきます。
- ・職員会や各部署会などを通じて施設に来られる方に対して、職員一人ひとりの姿勢について伝えました。今後も職員は施設の代表という意識を持ち、地域との接点を大切にしていきます。
- ・野菊の会との意見交換を2回実施する予定でしたが1回しか行えませんでした。今まで警報発令時の活動についての取り決めがなかった為、野菊の会の役員会に同席し、警報発令時の対応について申し合わせをしました。大雪の際には申し合わせ通り活動を中止したことがありました。

6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・部下からの提案や改善案について共に考えながら検討を重ねています。誰もが意見を言いやすい環境になる取組みについては、上司から積極的に声をかけるように努めましたが、一方向になりやすく十分ではなかったと思われ、引き続きの課題です。
- ・職員の負担軽減のため、床走行式リフトを導入しました。現状は1ユニット2名のご利用者に対して使用しています。
- ・定例の連絡会で課題について話し合うこともありましたが報告だけに終わってしまう事が多かったです。次年度は他部署との連携が必要な課題について話し合う場にしていきます。

7. 平成29年度委員会活動

◇研修委員会

- ・新規採用職員とエルダー職員が一对一で食事、排泄、入浴などの介護技術や記録や電話連絡などの基本研修を行い、双方が日頃の仕事を確認し、振り返ることができました。
- ・年間計画に沿って研修を実施しましたが、研修後の振り返りが行えていないものがありました。次年度は研修ごとに確認し、都度振り返りを行えるようにします。

◇リスクマネジメント委員会

- ・上半期は事故のデータ入力に滞っていましたが、下半期からはデータ入力を確実にを行い、ユニット会においてモニタリングに活用することができました。ただ、メンバー全員がデータ入力をするのできなかったのが反省点です。

- ・ヒヤリハットの件数は、通所では毎日1件以上の報告があがり、意識付けができてきましたが、施設では月に数件しかあがっていませんでした。危険予知研修を行い、ヒヤリハットの重要性について学びましたが、結果には繋がりませんでした。ご利用者の生活の中で事故につながることをヒヤリハットを捉える必要があります。
- ・事故対策等の検討について、頻発する事故や、身体や生命の危険に繋がる事故を取り上げて、改善策等を検討することができませんでした。
- ・災害時を想定した緊急連絡網の連絡訓練を実施し、職員参集のデータをとることができました。

◇CS委員会

- ・苦情対応研修を各部署やユニット単位で実施し、昨年度より職員のご意見受付に対する理解を深めることができました。ご家族アンケートや家族会でのご意見、ご意見ボックスを活用し、よりよい環境作りやサービス向上に努めました。そして上半期より下半期のご意見受付の件数が増えたことは1つの成果です。
- ・いただいたご意見に対し、3ヵ月後の見直しと対応策が継続できているかを委員会で確認し、情報を共有することができました。

◇業務改善委員会

- ・サービス評価を職員全員が行うことで個人の振り返りができ、行き届いていなかった項目を理解する一歩となりました。
- ・マニュアルの見直しと更新を行いました。
- ・ご家族アンケートからいただいたご意見をチェック項目に取り入れ、清掃チェックを毎月継続して行うことができました。

◇広報委員会

- ・ホームページの更新を月1回行うことができましたが、掲載する記事に偏りがあったのが課題です。幅広い情報が掲載できるようにしていきます。
- ・広報誌を年2回発行しました。レイアウトを工夫することで、より親しみやすい雰囲気のものに仕上がりました。

◇身体拘束廃止委員会

- ・施設全体での研修を行うことで全職員への身体拘束、虐待防止の意識付けができました。福祉用具の使用状況を把握し、身体的な拘束に繋がらないように確認しました。また、言葉によるスピーチロックについても職員間で声を掛け合うことで意識付けができました。

◇安全委員会

- ・認定特定行為従事者の吸引実施対象となるご利用者はいませんでした。
- ・認定特定行為従事者の資格取得は毎年継続しており、本年度は1名合格しました。
- ・資格取得者が継続して手順を確認する機会が少ないため、吸引用のシミュレーター人形を

有効に活用していきます。

◇感染予防対策委員会

- ・年間計画それぞれの研修を実施することができました。
- ・8月頃に約10名のご利用者が発熱 風邪症状が見られましたが、大きな流行なく終息しました。
- ・疥癬やウイルス性胃腸炎、インフルエンザ等にご利用者や職員が罹患しましたが、発症時には速やかに委員会を開き、初期対応等を話し合い、行動に移すことで感染が拡大することはありませんでした。
- ・感染症流行時期にはご利用者や職員をはじめ、ご家族や外来者に対して手洗いとうがいの注意喚起を行いました。

◇ポジショニング褥瘡予防委員会

- ・毎月ポジショニング確認シートを用いて、チームの取り組みを共有することができました。しかし、改善点やアドバイス等についての協議が不十分だったため、次年度では課題を明確にし、知識や技術の習得をしていきます。
- ・他部署とも情報を共有し褥瘡の早期発見、早期対応を行いました。福祉用具を活用することでご利用者の安楽な姿勢を考えて取り組むことができました。

◇労働安全衛生委員会

- ・労働災害の原因及び再発防止、腰痛予防は、日頃からの意識付けや物品を購入する等で改善につなげていくよう話し合いました。
- ・職場環境やメンタルヘルスの改善に向けて、職員のストレスチェックを実施しました。

◇給食委員会

- ・提供した食事の状況や、ご利用者からの感想を基に委託先栄養士と、食事に関する情報交換を行い、ご利用者にとって、美味しくて食べやすい食事を提供することができました。

施設利用状況

	入所	退所					月間 空床率	延べ利用者数
		死　　亡		長期入 院	施設間 移動	計		
		施設内	病院					
4月	2	1	0	0	0	1	1.0	2360
5月	1	1	0	0	0	1	0.1	2451
6月	1	1	0	0	1	2	2.2	2368
7月	0	0	0	0	0	0	3.7	2418
8月	2	0	1	0	0	1	4.4	2427
9月	2	1	1	0	0	2	2.8	2345
10月	1	1	0	0	0	1	1.7	2439
11月	2	3	0	0	1	4	3.5	2338
12月	3	3	0	0	0	3	2.6	2387
1月	4	3	0	0	0	3	0.8	2429
2月	2	0	1	1	0	2	0.9	2203
3月	1	0	1	0	0	1	3.1	2475
計	21	14	4	1	2	21		28640

介護度別	平成29年度末				年間延べ利用者数
介 護 度	男	女	計	比率	
要介護 1	1	6	7	8.9	2648
要介護 2	3	8	11	13.9	5107
要介護 3	7	15	22	27.8	6520
要介護 4	7	20	27	34.2	8804
要介護 5	2	10	12	15.2	5561
計	20	59	79	100	28640
		平均	3.4		

市町別	平成29年度末	年間	
市町名	利用者数	入所数	退所数
まんのう町	67	19	11
丸亀市	4	0	3
善通寺市	3	0	1
琴平町	1	1	6
三豊市	3	1	0
姫路市	1	0	0
計	79	21	21

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
入院	12	0	51	60	88	49	62	51	13	0	12	103

年齢分布

年 齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男 性	1	6	8	5	0	20	83.9	94	67
女 性	0	6	22	29	2	59	89.8	102	75
計	1	12	30	34	2	79	86.8		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M
人数	2	4	7	24	13	14	15	0

入所平均在所期間

男 性	5年2か月
女 性	5年3か月
全 体	5年3か月

診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	6	7	6	6	5	6	8	8	8	7	6	5	78
整形外科	2	2	4	2	2	2	2	2	4	2	1	2	27
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
歯科	5	5	4	5	4	4	7	5	6	6	6	5	62
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	16	17	17	16	14	15	20	18	21	18	16	15	203

診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	5	4	8	7	15	11	6	8	5	5	8	10	92
整形外科	2	2	4	2	4	2	6	6	10	7	5	3	53
耳鼻咽喉科	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
眼科	1	2	1	0	1	1	0	3	0	1	2	4	16
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	1	1	1	2	1	0	2	0	1	2	0	11
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	1	2	1	0	0	4	0	3	4	1	2	2	20
泌尿器科	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
脳神経外科	2	1	4	0	2	1	1	1	0	0	0	1	13
精神科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	11	13	20	11	25	20	14	24	19	16	19	20	212

リハビリテーション実施状況（平成29年度末 重複あり）

種目	ホットパック	マイクロ波	ハドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	肋木運動	滑車運動	生活リハビリ	入浴時運動	RO時体操	おしぼり巻き等作業	園芸活動
対象者数	42	6	42	2	2	4	1	5	25	0	0	42	9	0

食事形態の状況

	普通食	きざみ食	極きざみ食	つぶし食	経管栄養	合計
平成29年度末	20	18	24	8	9	79

栄養ケアマネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
平成29年度末	55	8	0	63

職員研修派遣状況

日 付	研 修 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
4月5日	仲多度南部危険物安全協会平成29年度第1回理事会	琴平町		施設長	植野哲男
4月10日	第54回長尾長生会総会	まんのう町		〃	〃
4月14～15日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京都	通所課長	篠原匡生
5月8日	仲多度南部在宅医療・介護連携推進会議	琴平町		居宅介護支援課長	小亀育枝
5月11日	香川おもいやネットワーク事業総合相談・支援担当者等連絡会	高松市		統括課長	小嶺 輝
5月12日	仲多度南部危険物安全協会定時総会	琴平町		施設長	植野哲男
〃	〃	〃		機能訓練指導員	中浦雅夫
5月13日	まんのう町社協長炭支部総会	まんのう町		施設長	植野哲男
5月16日	まんのう町・琴平町主任介護支援専門員合同連絡会	琴平町		居宅介護支援課長	小亀育枝
5月17日	琴平安全運転管理者協議会通常総会	まんのう町		施設長	植野哲男
5月26日	福祉の職場説明会サポートフェア事前ガイダンス	高松市		通所課長	篠原匡生
〃	〃	〃		介護職員	岩原加奈
5月29日	香川県社会福祉法人経営青年会第1回総会	〃		通所課長	篠原匡生
5月30日	介護施設における医療行為を安全に実施するための施設長研修	〃		施設長	植野哲男
6月6日	中讃地域の主任介護支援専門員連絡勉強会	丸亀市		居宅介護支援課長	小亀育枝
6月7日	まんのう野菊の会総会	まんのう町		施設長	植野哲男
6月8日・9日	施設等新任職員研修会	高松市		介護職員	藤原あすか
〃	〃	〃		〃	横田加奈
6月16日・17日	〃	〃		〃	森 俊三
〃	〃	〃		〃	橋本千生
6月16日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京都	通所課長	篠原匡生
6月16日	喀痰吸引等研修事業指導看護師等フォローアップ研修	高松市		看護職員	森本美香
6月17日	高知ふくし機器展		高知県	介護職員	邊見麻衣子
〃	〃		〃	〃	林 飛鳥
6月23日	福祉人材確保研究会	高松市		〃	岩原加奈
6月29日	まんのう町地域包括支援センター運営協議会	まんのう町		居宅介護支援課長	小亀育枝
7月4日	福祉のしごとサポートフェア	高松市		介護職員	小松智紀
7月5日6日	社会福祉法人主任係長講座		大阪府	〃	平田知永子
7月6日	琴平町地域包括第1回介護支援専門員連絡会	琴平町		居宅介護支援課長	小亀育枝
7月18日	福祉避難所協定準備会	まんのう町		施設長	植野哲男
7月25日	福祉の職場説明会	高松市		介護職員	岩原加奈
7月27日	対人援助技術専門研修会	〃		〃	細川知史
8月1日	介護技術特別研修会	〃		〃	仁尾智紀
8月5日	喀痰吸引等実地研修技能確認	〃		〃	吉田昂史
〃	喀痰吸引等実地研修	〃		看護職員	森本美香
8月8日	まんのう町・琴平町主任介護支援専門員合同連絡会	まんのう町		居宅介護支援課長	小亀育枝
8月14日	リスクマネジメント研修会	高松市		介護職員	近藤慶治

職員研修派遣状況

日 付	研 修 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
8月17日・19日	喀痰吸引等研修(演習)	〃		看護職員	森本美香
8月21日	都道府県経営協セミナー	高松市		統括課長	小嶺 輝
8月24日	給食施設管理者等研修会	丸亀市		管理栄養士	岡崎円香
8月25日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京都	通所課長	篠原匡生
〃	高齢者福祉施設等職員研修会	高松市		介護職員	平田知永子
8月29日	介護奨学金学生受入会	〃		施設長	植野哲男
〃	〃	〃		統括課長	小嶺 輝
8月29日・30日	全国社会福祉法人経営青年会コーチング・トレーニング講座		愛知県	介護職員	小林里香
9月11日～15日	香川県認知症介護実践研修(リーダー研修)	丸亀市		〃	今田愛織
9月12日	認定調査員新規研修会	〃		生活相談員	山下智美
9月14日・15日	社会福祉法人経営者大会		三重県	施設長	植野哲男
〃	〃		〃	通所課長	篠原匡生
9月15日	主任介護支援専門員フォローアップ研修会	高松市		居宅介護支援課長	小亀育枝
9月20日	認定調査員現任研修会	丸亀市		統括課長	小嶺 輝
〃	〃	〃		生活支援課長	溝渕友香理
〃	〃	〃		介護支援専門員	鎌田百絵
〃	〃	〃		〃	長尾めぐみ
〃	〃	〃		〃	藤原万寿代
9月22日	喀痰吸引等フォローアップ研修	高松市		介護職員	小林里香
9月25日	高知家統一基本ケアセミナー		高知県	管理栄養士	岡崎円香
9月26日	香川県認知症介護基礎研修	丸亀市		生活相談員	加藤玲子
〃	〃	〃		介護職員	細川知史
9月28日	福祉サービス苦情解決事業研修会	高松市		統括課長	小嶺 輝
10月2日～5日,30日	香川県認知症介護実践研修(リーダー研修)	丸亀市		介護職員	今田愛織
10月3日	危険物取扱者保安講習	まんのう町		機能訓練指導員	中浦雅夫
10月4,13,19,25日	介護福祉士養成実習施設実習指導者研修会	高松市		介護職員	村上由佳
10月5日	不在者投票説明会	〃		生活相談員	山下智美
10月5日	中讃地域の主任介護支援専門員連絡勉強会	善通寺市		居宅介護支援課長	小亀育枝
10月6日・7日	第8回オールジャパンケアコンテスト		鳥取県	通所課長	篠原匡生
〃	〃		〃	介護職員	細川知史
10月10日	介護トピックセミナー	高松市		〃	白川未咲
10月19日・20日	社会福祉法人経営青年会全国大会		徳島県	通所課長	篠原匡生
10月20日・31日	主任介護支援専門員更新研修	高松市		居宅介護支援課長	小亀育枝
10月26日	高知家統一基本ケアセミナー		高知県	統括課長	小嶺 輝
10月27日	〃		〃	介護職員	村上由佳
10月27日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京都	通所課長	篠原匡生
10月29日	介護支援専門員資質向上研修	高松市		居宅介護支援課長	小亀育枝

職員研修派遣状況

日 付	研 修 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
10月30,31日	初級リスクマネジャー養成講座2017		東京都	生活相談員	前田一樹
11月2,7,14,24日	主任介護支援専門員更新研修	高松市		居宅介護支援課長	小亀育枝
11月6,7日	ノーリフト基本技術ケアセミナー		高知県	介護職員	村上由佳
11月6日～10日	香川県認知症介護実践研修	丸亀市		〃	平田知永子
11月7日	安全運転管理者講習	〃		施設長	植野哲男
11月8日	まんのう町・琴平町主任介護支援専門員合同連絡会	琴平町		居宅介護支援課長	小亀育枝
11月10日	香川県喀痰吸引等研修(実地研修)	高松市		介護職員	山崎浩二
〃	〃	〃		看護職員	森本美香
11月19日	琴平町医療・介護関係者研修会	琴平町		居宅介護支援課長	小亀育枝
11月20,21日	施設ケアを支えるための課題解決セミナー	高松市		介護職員	吉田昂史
11月22日	介護支援専門員実務研修実習指導者等研修会	〃		居宅介護支援課長	小亀育枝
12月1,2日	ノーリフト基本技術ケアセミナー 基本指導者養成コース		高知県	介護職員	村上由佳
12月4,5日	初級リスクマネジャー養成講座2017		東京都	生活相談員	前田一樹
12月5日	仲多度南部在宅医療・介護連携推進会議	まんのう町		居宅介護支援課長	小亀育枝
12月7日	認知症予防研修会	高松市		介護職員	津山浩二
12月9日	第12回まんのう町社会福祉大会	まんのう町		施設長	植野哲男
12月9,11日	主任介護支援専門員更新研修	高松市		居宅介護支援課長	小亀育枝
12月13日	身元保証人不在者対応に関する研修会	〃		施設長	植野哲男
12月15,16日	次世代リーダー経営品質向上勉強会		東京都	通所課長	篠原匡生
12月19日	福祉避難所協定準備会	まんのう町		施設長	植野哲男
1月10～12日	経営品質協議会 アセスメントコース(基礎編)		東京都	〃	〃
1月25日	施設ケアを支えるための課題解決セミナー	高松市		介護職員	吉田昂史
1月26日	福祉避難所協定準備会	まんのう町		施設長	植野哲男
1月26日	琴平町地域包括介護支援専門員連絡会	琴平町		介護支援専門員	鎌田百絵
2月7日	琴平町・まんのう町主任介護支援専門員合同連絡会	まんのう町		居宅介護支援課長	小亀育枝
2月8日	接遇力研修会	高松市		介護職員	香川春香
2月12～14日	経営品質協議会 アセスメントコース(体験編)		東京都	施設長	植野哲男
2月14日	災害福祉支援セミナー	高松市		統括課長	小嶺 輝
2月22,23日	経営品質年次大会顧客価値経営フォーラム		東京都	通所課長	篠原匡生
3月7日	香川短期大学 実習指導者会	宇多津町		介護課長	石川智恵美
3月12～14日	経営品質協議会 アセスメントコース(実践編)		東京都	施設長	植野哲男
3月14日	社会福祉施設等職員採用内定者研修会	高松市		介護職員	和良地美緒
3月20日	施設ケアを支えるための課題解決セミナー	〃		〃	吉田昂史
3月22日	平成29年度 集団指導(通所介護)	〃		生活相談員	加藤玲子
3月26日	平成29年度 集団指導(居宅介護支援)	〃		居宅介護支援課長	小亀育枝
3月27日	平成29年度 集団指導(介護保険施設等)	〃		生活支援課長	溝渕友香理

施設内研修等（防災訓練を含む）

月 日	研修内容	参加人員	講 師
4月19日・25日	緊急通報システム研修	6名	植野施設長
5月15日～24日	認知症研修	42名	今田、吉田
5月29日	防災訓練	20名	仲多度南部消防署
5月30日～6月3日	手洗い研修	50名	森本看護師
5月31日～6月30日	ヒヤリ・ハット研修	16名	近藤
6月6日～21日	緊急時対応研修	46名	各ユニット主任
8月中	医学一般研修	46名	各ユニット主任
8・9月ユニット会	褥瘡予防研修	全職員	各ユニット主任
8月8日～25日	AED心肺蘇生研修	38名	仲多度南部消防署
8月29日	防犯訓練	25名	植野施設長
9月各部署会	苦情対応研修	全職員	各部署長
9月15日～27日	AED心肺蘇生研修(8月不参加職員)	18名	各ユニット主任
10月20日～23日	身体拘束廃止研修	32名	細川、高木、平田、小縣
11月1日	シェイクアウト・地震避難訓練	42名	植野施設長
11月22日 12月6日	インフルエンザ・ノロウイルス研修	32名	森本、鎌田
12月8日～27日	介護保険研修	48名	生活相談員
12月中	嘔吐物処理研修	43名	各ユニット主任
1月16日・19日	虐待防止研修	15名	樋口、出淵
2月16日・21日	プライバシー・個人情報保護研修	11名	吉田、林
2月12日～20日	ターミナルケア研修	43名	各ユニット主任
2月21日	風水害訓練	35名	植野施設長
平成29年度中	平成29年度採用者介護技術研修	3名	各エルダー職員
3月26日・27日	平成30年度採用者配属先研修	2名	各部署長
3月27日	防災訓練	30名	植野施設長

実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
香川短期大学	10月31日～11月4日	1	5
〃	2月5日～2月22日	1	15
さぬき福祉専門学校	6月13日～6月26日・7月3日～7月14日	2	20
〃	3月1日～3月20日	1	12
四国学院大学専門学校	1月22日～2月9日	1	15
穴吹パティシエ福祉カレッジ	10月2日～10月26日	1	15

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	553
在宅(通所・居支・その他)	43
計	596

②発生場所別

場所	件数
居室	198
廊下	30
浴室	59
脱衣室	22
ホール	155
トイレ	33
食堂	6
玄関	3
施設外	33
その他	57
計	596

③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	101
転落	116
誤飲・誤嚥	0
異食	1
服薬管理	23
自傷行為	0
徘徊	8
入所者間トラブル	3
器物損壊	16
皮下出血	114
紛失	9
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	11
職員の介助中の事故	11
私物返し忘れ	78
表皮剥離	56
その他	49
計	596

④発生時間帯別

時間帯	件数
朝	8時 ～ 10時 71
	10時 ～ 12時 106
昼	12時 ～ 14時 41
	14時 ～ 16時 77
夕	16時 ～ 18時 91
	18時 ～ 20時 55
夜間	20時 ～ 22時 29
	22時 ～ 24時 16
	0時 ～ 2時 14
	2時 ～ 4時 14
早朝	4時 ～ 6時 28
	6時 ～ 8時 51
計	596

⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	7
打撲	16
皮下出血	120
すり傷	14
裂傷	15
呼吸困難	2
嘔吐	1
表皮剥離	61
精神不安定	0
外傷等なし	193
利用者の物品管理	93
送迎関係	7
服薬・異常なし	21
その他	46
計	596

⑥発生月別

月 別	件数
4月	55
5月	51
6月	41
7月	43
8月	50
9月	47
10月	50
11月	51
12月	52
1月	46
2月	53
3月	57
計	596

⑦保険者への報告

内 容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	5
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	2
介護上の事故等、その他の事故	0
計	7

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

月 別	件数
4月	58
5月	76
6月	70
7月	75
8月	77
9月	56
10月	65
11月	51
12月	40
1月	33
2月	33
3月	39
計	673

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関わる事項	4	8	2	0	0	14
②個人の嗜好・選択に関わる事項	0	0	0	0	0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0	0	0	0
④制度、施策、法律に関わる要望	0	0	0	0	0	0
⑤その他	0	0	2	0	2	4
合 計	4	8	4	0	2	18

身体拘束の状況

平成29年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	23	大正琴の集い	3	0	0	0
5	18	芋植え	6	0	0	0
5	25	春の鮎焼き	80	18	0	0
6	4	笑みの集い	3	0	0	0
6	16	梅雨外出・1回目	4	0	0	0
6	23	梅雨外出・2回目	4	0	0	0
6	26	梅雨外出・3回目	5	0	0	0
6	26	家族会(通所)	0	0	7	0
7	13	家族会(前期)	0	0	14	0
7	24	交通安全教室(通所)	0	22	0	0
7	29	仲南荘夏まつり外出	6	0	0	0
8	19	夏のタベ	80	0	40	30
9	13	芋掘り	12	0	0	0
9	13	敬老会(通所)	0	20	0	0
10	19	秋のさんま焼き	80	21	0	0
10	16～20	ミニ運動会(通所)	0	72	0	0
10	25	運動会	80	20	0	0
11	13	紅葉外出・1回目	4	0	0	0
11	14	紅葉外出・2回目	4	0	0	0
11	17	紅葉外出・3回目	4	0	0	0
11	29	物故者法要	11	0	5	0
12	21	クリスマス会	80	19	0	13
12	26	餅つき	80	0	0	0
1	15	交通安全教室(通所)	0	16	0	0
2	3	節分	80	21	0	0
3	1～20	ひなまつり	80	85	0	0
3	10	家族会(後期)	0	0	17	0
3	25	カラオケNo.1	2	0	0	0

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	音楽療法	第1・3水曜日	17	岩永様 他	
	散髪ボランティア	第2月曜日	10	為広様他	散髪
	美容らん	第3水曜日	15	らんモバイルヘアサロン	散髪、カラー、パーマ
	ハッピー散髪	第1水曜日	20	美容室ふじむら	散髪、カラー、パーマ
	茶華道	毎週水曜日	16	近藤様	
	手打ちうどん	第1月曜日	70	野菊の会	
通所	運動、知能、創作レク	毎日	17		希望者のみ実施
	読経	毎日	18		希望者のみ実施
	誕生会	誕生日前後の利用日	20		誕生日カードとプレゼント
	手作りおやつ	月1回	20		季節に応じた手作りおやつ調理を希望者と一緒に実施
	茶華道	毎週水曜日	20	近藤様	
	手もみマッサージ	月1回	17	仲善広域シルバー人材センター	会話とマッサージ
	ミュージックレクリエーション	月1回程度	17	笠井様	音楽と運動
	紙芝居	月1回	17	紙芝居ボランティア	読み聞かせ交流
	手品、カラオケ、踊り	月1回程度	17	なかよし会	
	踊り、歌の披露	隔月	16	しあわせ会	
	踊り、歌の披露	年1～2回	16	つくし会	
	踊り、歌の披露	年4回	18	すみれ会	

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
5	10	長尾会館ふれあいサロン(防犯講義)	2	0	長尾地区の方々	21
6	7	長尾会館ふれあいサロン(七夕飾り作り)	1	0	長尾地区の方々	16
7	2	土器河川一斉清掃	6	0	地域の方々	30
7	5	長尾会館ふれあいサロン(長炭小学校児童との七夕交流会)	1	0	長尾地区の方々・長炭小学校	35
8	2	長尾会館ふれあいサロン(演奏会)	1	0	長尾地区の方々・香川県警音楽隊	32
8	25	野菊の会臨時役員会	2	0	野菊の会・まんのう町社協	11
8	28	吉野公民館交流教室(ワクワクこども体験ツアー)	4	1	吉野公民館	30
9	4	野菊の会意見交換会	2	0	野菊の会・まんのう町社協	10
9	6	長尾会館ふれあいサロン(映画鑑賞)	1	0	長尾地区の方々	24
12	6	長尾会館ふれあいサロン(長炭小学校児童との交流会)	1	0	長尾地区の方々・長炭小学校	38
1	10	長尾会館ふれあいサロン(初詣・買い物)	1	0	長尾地区の方々	18
1	28	防災教室	2	1	地域の方々・四条小学校、こども園	75

カフェ・お茶会

月	日	種類	内容	参加人数	ボランティア数
6	25	満ごころカフェ	蒸しパンづくり、茶話会	5	0
9	24	満ごころカフェ	芋きんちゃくづくり、茶話会	12	0
2	23	満ごころカフェ	職員による劇を通じて困りごと相談	18	0

短期入所生活介護

- ・受け入れに際しての認識を統一すべく、関連部署と話し合いを重ねています。生活相談員の定例会にて挙げた課題や他部署からの課題を共有し、ショートステイご利用中、安心して過ごして頂けるよう随時確認しました。

延べ短期入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	1422	1475	1365	1546	1613	1588	1668	1616	1578	1538	1430	1540	18379
要支援(介護予防)	54	47	8	16	2	4	7	2	2	12	10	0	164
合計	1476	1522	1373	1562	1615	1592	1675	1618	1580	1550	1440	1540	18543
利用率	89.5	89.3	83.2	91.6	94.7	96.5	98.2	98.1	92.7	90.9	93.5	90.3	92.4

介護度別利用状況

介護度	29年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	98	0.5%
要支援2	1	66	0.4%
要介護1	21	2066	11.1%
要介護2	38	6147	33.2%
要介護3	24	4469	24.1%
要介護4	102	3370	18.2%
要介護5	10	2327	12.5%
合計	196	18543	100%

(2) 通所介護事業

満濃荘老人デイサービスセンター

総合事業が始まり、健康維持や介護予防について考える機会が増えました。ご利用者の自宅での過ごし方や意向に沿った運動も企画できるように工夫し、新たな体操も取り入れることができました。認知症カフェを含めた地域交流の機会へも参加し、地域との関わりが少しずつ増え始めています。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご利用者一人ひとりとの関わる時間を大切にしました。
- ・ご利用者の状態が変化した際、小さな事でもご家族、ケアマネジャーへの連絡、報告を迅速に行いました。変更が必要な内容に対しては、職員間で話し合う機会を持ち対応しました。
- ・ポジショニングによる安楽な姿勢保持や安全な介護技術を意識的に取り組みましたが、知識、技術の向上とまでには至っていません。ご自宅での支援方法として、ご家族へのアドバイスへも繋がっておらず、基礎的技術向上を課題とします。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・ご自宅での過ごし方や生活動作の状況を定期的に訪問し確認しました。その中で、ご本人やご家族のご意向を大切に考え、訓練計画の内容に反映するようにしました。
- ・運動計画書の個別プログラムが分かりやすく、且つ評価しやすくするために回数や時間などを明確にしました。
- ・レップバンドを使用した新しい体操を取り入れ、単純な運動の中で負荷をかけて体操を行いました。

3. 地域社会との関係を活かしたサービスの提供

- ・総合事業の新しい展開に対して、関係機関に確認を行い、一つひとつ検討し対応しました。制度を通しての内容となることもあり、新たな福祉サービスの開拓とはなりませんでした。が、地域への交流機会となるカフェ等に参加し、デイサービスの活動や情報発信を行うことができました。

4. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・ヒヤリハットへの取り組みをチーム内で継続し、意識付けることができました。通所職員会でも事故やヒヤリハットのモニタリングを定期的に行い、リスクへの多角的な視点で要因を考えられるようになりました。環境面への配慮を話し合うこともできています。

通所介護事業実績

定員・・・月～金曜 25名 土・日曜 20名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用実人員	75	75	79	78	75	77	79	82	81	84	83	82	950
利用延人数	486	524	562	574	595	575	560	578	606	563	518	613	6754
利用率 (月～金曜)	78.0	74.4	81.3	83.0	83.5	81.0	76.5	80.5	87.8	78.8	80.8	86.9	81.0
利用率 (土・日曜)	48.0	60.0	71.9	69.0	71.9	83.3	77.2	84.4	72.5	68.8	71.3	75.0	70.9

介護度別利用状況

介護度	29年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
総合事業対象者	1	4	0.1%
要支援1	9	364	5.4%
要支援2	9	834	12.3%
要介護1	22	1652	24.4%
要介護2	21	2067	30.6%
要介護3	11	1391	20.6%
要介護4	6	283	4.2%
要介護5	6	159	2.4%
合計	85	6754	100%

(3)居宅介護支援事業

1. 適切な業務管理の徹底

- ・事業運営基準を遵守した居宅介護支援業務を適切に実施しました。加算の算定については自己点検表で根拠を明確にして請求管理を行いました。

2. 業務改善への継続的な取り組み

- ・まんのう町からのケアプラン点検を1事例ずつ受け、ケアプラン作成に関する一連の流れ等について指導や助言をいただき、ケアプラン作成の見直しや適正化の機会となりましたが、1事例以外のケアプラン点検はできませんでした。

3. 困難事例への積極的な対応

- ・困難事例については地域包括支援センター等公的な機関に報告、相談しながら連携しました。地域包括支援センターでのケア会議の中で解決の糸口が見つかり、ご利用者の在宅生活が継続されました。ケース検討する中で地域の方と関わる事も含め、新たな地域での課題に気づく事もできました。

4. 関係機関との協力体制

- ・情報収集した事柄に関してはサービス提供事業所へ適宜報告、連携を図りながら、ご利用者、ご家族のより良い生活の実現に繋げて行きました。福祉だけでなく医療関係者とも連絡や面談、書面等で連携を図り、切れ目ない在宅生活を支援しました。

5. 専門職としてスキルアップできる研修の充実

- ・事例検討会、個別研修を実施しました。特に多職種連携に注目し、訪問看護、薬剤師等、医療関係者と勉強の場を持ち、実践力の向上を図りました。介護支援専門員実務研修における実習受け入れ事業所としての役目も果たしました。

居宅介護支援事業実績

市町別居宅サービス計画実績 ()内要支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
まんのう町	77 (7)	78 (8)	81 (7)	78 (6)	76 (7)	78 (5)	80 (5)	81 (5)	82 (5)	86 (3)	82 (2)	79 (2)	958 (62)
琴平町	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	27 (24)
丸亀市	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	16 (0)
三豊市	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	12 (0)
計	81 (9)	82 (10)	85 (9)	82 (8)	80 (9)	82 (7)	84 (7)	85 (7)	87 (7)	92 (5)	88 (4)	85 (4)	1013 (86)

要介護度別状況 (平成29年度末)

介護度	作成者数
要支援1	1
要支援2	3
要介護1	36
要介護2	24
要介護3	16
要介護4	7
要介護5	2
計	89

支給申請の手続き代行及び認定調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉用具支給申請	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	1	5
住宅改修支給申請	2	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	7
介護保険申請代行	5	7	4	4	3	6	2	6	4	1	4	3	49
介護保険認定調査	9	6	6	9	8	9	9	6	9	9	9	9	98

(4)その他の事業

1. 満濃荘老人介護支援センター

(1) 老人介護支援センター事業

- ・今年度は、新たに統括課長を担当者に置き、定期的に地域のふれあいサロンに参加し、参加者との意見交換など積極的に関わりました。
- ・満濃荘で実施している「満ごころカフェ」の開催月には、長尾会館でチラシを配るなど、積極的な関わりを持つこともできました。

(2) 緊急通報体制事業

- ・緊急通報時には速やかに対応し、協力員への連絡や、必要に応じて町の担当者へ連絡する等、連携を密に行いました。
- ・通報時に本人確認が行えず、また協力員が不在の場合など、緊急を要する場合は、施設より現地におもむき状態確認並びに緊急搬送等のフォロー等も行いました。

(3) 家族介護者交流事業

- ・まんのう町担当課と連携し、愛媛方面へ日帰り旅行を行いました。車中では、まんのう町より「高齢者徘徊 SOS ネットワーク事業」の説明や、満濃荘からは、施設入所の仕組み等の研修を行いました。皆さん熱心に聞いて下さり、活発な意見交換が行えました。
- ・参加された皆様から「ストレス解消になった。また来年も参加したい。」等という感想を沢山いただきました。

(4) おもいやりネットワーク事業

- ・法人間連携会議にてまんのう町・琴平町の社会福祉協議会と情報を共有しましたが、自施設で行える事業等の検討には至りませんでした。
- ・地域の方から生活のお困りごとについて、相談を受け付けることはありませんでした。

2. 給食サービス事業

- ・栄養面に配慮し、おいしい食事が提供できるよう委託先栄養士と取り組みました。
- ・普通食が食べられない方は食事形態を変更し、アレルギーのある方には代替を用意してご利用者に応じた食事の提供を行いました。
- ・配食時にご利用者の様子に変化があった場合はまんのう町へ報告しました。

3. 生きがい活動支援通所事業

- ・今年度は、班編成や提供時間、サービス内容の変更を行いました。影響も大きくご利用者数が大きく減少しています。
- ・健康維持として、企画していた栄養教室と健康教室、又、脳トレ、創作活動等の趣味活動は、計画通り実施しましたが、ご利用者から楽しみにされていた外出機会が少なくなっており次年度の課題とします。

緊急通報装置 通報データ集計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
緊急	救急車出動	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4
	協力員対応	0	4	1	17	4	6	8	0	0	2	0	1	43
	誤 報	5	5	3	6	3	2	7	1	6	5	3	3	49
相談	相 談	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
	誤 報	3	1	0	6	0	3	3	0	3	5	1	1	26
テスト通報		4	4	2	4	5	4	9	16	4	2	3	2	59
電池切れ(停電含)		4	5	8	6	7	16	5	7	23	35	6	6	128
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
合 計		16	20	15	39	19	31	34	24	39	51	13	13	314

町別集計

	緊急通報	相談通報	その他	計
まんのう町	93	25	168	286
琴平町	3	4	21	28
合 計	96	29	189	314

在宅介護者のつどい実績

実施日	行 き 先	見学施設等	備 考	人数
平成29年11月16日	愛媛県道後方面	砥部焼伝統産業館 道後温泉・大和屋本店 ハタダお菓子館	満濃荘/仲南荘 老人介護支援センター	28名

給食サービス・安否確認実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回 数	8	9	9	8	9	9	9	8	9	8	8	9	103
食 数	289	328	352	301	333	354	316	282	317	296	313	377	3858

生きがいデイサービス 利用実績

まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
利用延人員	31	28	27	29	22	24	27	22	21	20	20	23	294
1日平均利用者	5.2	4.7	4.5	4.8	3.7	4.0	4.5	3.7	3.5	3.3	3.3	3.8	4.1

年間行事等実施状況

月	実施内容	備考(詳細)	参加人員
4	カレンダー作り	4月～6月のカレンダー作り	21
5	作品作り	折り紙(鯉のぼり)の作成	19
6	カレンダー作り	7月～9月のカレンダー作り	19
7	七夕飾り	笹へ短冊や飾りを飾り付け	20
8	栄養教室	栄養士による夏バテ予防メニューの紹介	16
9	カレンダー作り	10月～12月のカレンダー作り	17
10	買い物外出	マルヨシセンター、マルナカへの買い物	18
11	リース作成	リース作り	16
12	カレンダー作り	1月～3月のカレンダー作り	14
1	絵馬作成	干支(戌)の絵馬を作成	14
2	健康教室	健康管理について情報提供	14
3	カレンダー作り	4月～6月のカレンダー作り	16

Ⅲ. 特別養護老人ホーム

仲 南 荘

(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

平成30年3月に開設20周年を迎えました。ご利用者・ご家族だけでなく、地域の方々とも関係が深まっています。地域の中で必要な施設となるために、介護を提供するだけでなく、福祉施設としての役割を意識して取り組んでいきました。

介護技術や福祉用具は、時代の流れとともに変わってきています。ご利用者へのサービスの向上と職員の成長のために、新しい考えや技術を取り入れていきました。

介護老人福祉施設

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご利用者からの要望や安全面を考えて、ホールの机の配置や、居室内でのベットの配置等、環境整備をしていきました。
- ・ご利用者一人ひとりの日常生活の中にある、排泄、食事や水分量、臥床時の姿勢をカンファレンスや棟会で確認し、適した介護を話し合っていました。移動用リフトや移乗用具を職員同士で研修した上で実施していきました。
- ・ご利用者の状態変化を記録に残し情報共有を意識していきました。ご家族にも細かなことでも報告していましたが、不十分なこともありました。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・主治医以外の医療機関への受診や往診を受けた時は、その結果を主治医に報告し、ご利用者の状態を把握した上で指示がいただけるようにしました。内容によっては、直接医療機関同士で連絡していただき医師間の連携ができるようにしました。
- ・施設内での医療の提供は主治医とご家族との相談の上で、施設で出来る範囲をご家族に説明し、ご理解いただきました。終末期の全ての方が、入院せず施設での対応を希望され、施設で最期を迎えられました。
- ・ご利用者の身体能力の状態を確認し、毎日の生活に活かせるリハビリを実施しましたが、拘縮がすすみ、思うようなリハビリが出来ない方もおられました。

3. 食生活の充実

- ・高齢者ソフト食に対応した代替メニューを検討し、おやつボランティア実施の際に調理・提供を続けました。また、ご利用者対象に実施した嗜好調査の結果を参考に、リクエストのあったメニューを取り入れる等、献立の改善に取り組みました。
- ・厨房内の点検、厨房職員から設備の不備の有無を確認し、定期的に衛生チェックを行っていきました。

4. 適切な相談支援

- ・ご利用者、ご家族から相談やご要望を受けた場合は、内容をしっかり確認し、関係部署と連携して支援していきました。
- ・地域の困り事や地域福祉に関する相談が受けられるように、地域の方やケアマネジャーと会話する機会を多くしていきました。

- ・介護保険や暮らしに役立つ情報等、ご利用者やご家族が知りたい内容を正確にお伝えできるように、情報を集め知識を習得していきました。

5. 積極的な地域社会との交流

- ・地元の用水路や神社の清掃活動、自治会の防災訓練などに職員が交代で参加しました。初めて参加する職員は、緊張しながらの参加でしたが、地域貢献活動の必要性を理解する機会に繋がりました。
- ・地域の方々に施設にお招きし、生活に役立つ情報提供や、簡単な運動等を企画し実施していきました。徐々に馴染みの参加者も増え、地域の方々に浸透してきています。

6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・新採用、中途採用の職員に対して、皆で支えて声をかけていきました。急がず、ゆっくりでもいいので成長していけるように関わっていきました。
- ・会議や委員会で職員同士が話し合う機会が多くありました。会の中で意見は多く出るようになりましたが、会の進行の仕方や内容はまだ不十分だと感じます。委員長等の進行役が、回数を重ね経験を積んでいかなければいけません。

7. 平成29年度委員会活動

◇研修委員会

- ・計画していた研修の準備が遅れ、実施時期が遅れていきました。担当者への依頼や予定の打ち合わせなど、事前準備が不十分でした。
- ・研修後に、研修で学んだことを現場で活用できているかの確認が課題です。

◇事故防止検討委員会

- ・各棟会や通所会で事故後の評価を行い、再発防止に対する意識を深めることができました。全体的に皮下出血が多かったので、介助時の注意点を周知していきました。
- ・委員会メンバーで、小型発電機や AED などの非常用設備を定期的に点検し、いつでも利用できるように確認していきました。防災訓練は、手順を確認しながら慌てずに行うことができました。

◇苦情対応委員会

- ・ご意見受付書の対応策について、その時の対応だけでなく、対応策が継続してできているか、事後の確認をしていきました。ご利用者アンケートからは、いろいろなご意見をいただきました。各部署で改善できるところを検討し、対応内容を回答しました。

◇業務改善委員会

- ・業務マニュアルの確認と、福祉サービス第三者評価を使用した自己評価を行うことができました。委員会をする日程調整が不十分で、上手く開催できませんでした。業務で改善したことや、新しく取り組んだことが継続できているかの確認も不十分でした。

◇広報委員会

- ・ホームページがリニューアルされ、写真が何枚も載せられ、記事の情報がより分かりやすく掲載できるようになりました。玄関ロビーの掲示版での閲覧も、写真がたくさん載っているため目に留まりやすく、ご利用者や来園者の方々にも興味を持って見て頂くことができました。
- ・広報誌で紹介した介護用品について、見られた方から商品の使い方の問い合わせがあり、ご自宅での活用に繋がることもありました。掲載したことが、少しでもご家族に役立つことができたと感じ、広報活動をする励みになりました。

◇身体拘束廃止委員会

- ・身体拘束の法令についてや、ご利用者への影響について周知しました。センサーマットについても話し合い、ご利用者の状況を見極め必要な方に使用していきました。
- ・スピーチロックの研修は各部署で行い、その後の確認を委員会でしていきました。業務にゆとりのないときに、「ちょっと待って。」等と言ってしまうことがあります。各部署の会で周知していき意識するようにしていきました。

◇安全委員会

- ・緊急時に備えた対応が出来るように、9月に救命処置の研修を全職員に実施しました。特定行為従事者には、6月と1月に喀痰吸引の実技研修を実施しました。内容の変更や追加された項目についての周知と技術の再確認をすることができました。

◇感染予防対策委員会

- ・感染症を予防するために予防策の周知や、世間での感染症状況の情報を委員会メンバーで共有していきました。
- ・空調管理や湿度チェックを行い、ご利用者が生活しやすい環境を調整していきました。感染症になるご利用者・職員はありましたが、そこから二次感染することはありませんでした。

◇ポジショニング委員会（褥瘡予防委員会）

- ・毎月現状を確認していくことで、職員の意識の向上ができました。職員への研修を行っていましたが、技術や知識の向上にはまだ課題があります。
- ・褥瘡予防については、関係職種で話し合い、連携して対応していきました。悪化することはなく、早期に治癒できています。

◇労働安全衛生委員会

- ・職員の健康管理について、産業医からもご意見をいただき、毎月職員に情報を周知することができました。日常の生活習慣について、意識することができました。
- ・職員の健康診断やストレスチェックも予定通り実施でき、体調不良で長期休暇をとる職員

はいませんでした。

◇給食委員会

- ・各部署より実施献立の感想等の意見をいただき、委託業者と共に調理法や加熱時間の改善に取り組みました。
- ・委託業者のご協力もあり、選択おやつの実施、港巡りメニューの提供等新しい試みも始めることができました。

施設利用状況

	入所	退所					月間 空床率	延べ利用者数
		死 亡		長期入 院	施設間 移動	計		
		施設内	病院					
4月	0	0	0	0	0	0	0.1	1498
5月	1	1	0	0	0	1	1.9	1513
6月	0	0	0	0	0	0	2.7	1453
7月	2	2	0	0	0	2	5.9	1454
8月	0	0	0	0	0	0	5.2	1464
9月	1	0	0	1	0	1	1.5	1472
10月	0	0	0	0	0	0	1.7	1520
11月	1	2	0	0	0	2	0.2	1497
12月	1	0	0	0	0	0	0.5	1545
1月	1	1	0	0	0	1	0.6	1540
2月	1	1	0	0	0	1	3.1	1351
3月	2	3	0	0	0	3	1.6	1525
計	10	10	0	1	0	11		17832

介護度別	平成29年度末				年間延べ利用者数
介 護 度	男	女	計	比率	
要介護 1	0	0	0	0.0	232
要介護 2	2	2	4	8.1	1460
要介護 3	1	12	13	26.5	4536
要介護 4	6	10	16	32.7	6007
要介護 5	1	15	16	32.7	5597
計	10	39	49	100	17832
平 均				3.9	

市町別	平成29年度末	年間	
市町名	利用者数	入所数	退所数
まんのう町	44	8	10
琴平町	3	1	1
三豊市	2	1	0
計	49	10	11

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	2	7	6	5	5	5	3	3	5	9	6	6
入院	0	27	41	88	81	23	27	0	0	0	43	12

年齢分布

年 齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男 性	0	2	3	5	0	10	88.0	99	71
女 性	0	1	17	19	2	39	87.9	103	79
計	0	3	20	24	2	49	87.9		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M
人数	0	1	2	13	12	5	12	4

入所平均在所期間

男 性	4年3ヵ月
女 性	4年6ヵ月
全 体	4年5ヵ月

診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	3	3	3	4	3	4	3	5	3	5	4	5	45
整形外科	2	2	4	2	2	2	2	2	4	2	1	2	27
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
歯科	4	3	5	5	5	8	7	7	9	7	6	8	74
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	12	11	15	14	13	17	15	17	19	17	14	18	182

診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	14	11	17	9	14	12	7	1	11	13	7	14	130
整形外科	12	8	8	7	10	6	5	6	5	6	5	10	88
耳鼻咽喉科	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	4
眼科	0	0	0	4	1	1	1	1	0	0	2	1	11
歯科	1	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	6
外科	2	3	2	2	2	1	4	2	2	2	2	2	26
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	2	2	1	1	0	5	2	1	0	2	1	0	17
泌尿器科	2	1	2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	13
脳神経外科	1	1	2	0	2	0	2	1	1	0	3	1	14
精神科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	34	29	32	28	30	27	22	13	20	25	21	29	310

リハビリテーション実施状況（平成29年度末 重複あり）

種目	ホットパック	マイクロ波	ハドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	肋木運動	滑車運動	生活リハビリ	入浴時運動	RO時体操	おしぼり巻き等作業	園芸活動
対象者数	23	0	4	5	0	5	3	5	3	2	0	37	5	0

食事形態の状況

	普通食	きざみ食	極きざみ食	つぶし食	経管栄養	合計
平成29年度末	7	8	13	13	8	49

栄養マネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
平成29年度末	22	20	2	44

職員研修派遣状況

日 付	研 修 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
4月15日	福寿会総会	まんのう町		施設長	栗田 猛
5月12日	仲多度南部危険物安全協会定時総会 及び設立40周年記念式典	琴平町		統括課長	平田 裕二
5月17日	琴平安全運転管理者協議会通常総会	まんのう町		施設長	栗田 猛
5月19日	香川県社会福祉法人経営青年会監事会	高松市		〃	〃
5月26日	福祉の職場説明会・サポートフェア事 前ガイダンス	〃		介護職員	三谷 有加莉
5月26日	四国経営品質協議会定例会	〃		介護課長	篠原 則子
5月29日	香川県社会福祉法人経営青年会理事 会・総会	〃		施設長	栗田 猛
5月30日	介護施設における医療行為を安全に 実施するための施設長研修	〃		〃	〃
6月8日、9日	施設等新任職員研修会	〃		介護職員	木村 優花
6月16日、17日	〃	〃		〃	鍋島 智
6月16日	介護施設における医療行為を安全に 実施するための看護師等研修	〃		看護課長	松下 葉子
6月23日	福祉人材確保研究会	〃		介護職員	三谷 有加莉
7月5日、6日	社会福祉法人主任係長講座		大阪府	介護主任	大西 結花
7月5日、6日	社会福祉懇談会総会・経営セミナー		東京都	施設長	栗田 猛
7月・9日間	香川県喀痰吸引等研修事業(基本研 修・実地研修コース)	高松市		介護主任補佐	山本 文
7月25日	福祉の職場説明会	〃		介護職員	三谷 有加莉
8月3日	香川県人権・同和問題講演会	〃		事務員	中西 幸代
8月6日	香川県喀痰吸引等研修事業における 指導者打合せ会	〃		看護課長	松下 葉子
8月14日	リスクマネジメント研修会	〃		介護職員	白川 晴奈
8月22日	四国経営品質協議会定例会	〃		統括課長	平田 裕二
8月25日	高齢者福祉施設等職員研修会	〃		介護職員	鳥井 洋子
〃	香川県喀痰吸引等研修事業(基本研 修・実地研修コース)	〃		看護課長	松下 葉子
〃	〃	〃		介護主任補佐	山本 文
8月29日、30日	全国社会福祉法人経営青年会コー チングトレーニング講座		愛知県	介護主任補佐	三野 宗一郎
9月1日	香川県喀痰吸引等研修事業基本研修 (講義)に係る筆記試験	高松市		介護主任補佐	山本 文
9月8日	香川県喀痰吸引等研修事業(基本研 修・実地研修コース)	〃		看護課長	松下 葉子
〃	〃	〃		介護主任補佐	山本 文
9月11日～15日	香川県認知症介護実践研修(実践リ ター研修)	丸亀市		介護主任	山元 郁美
9月15日	在宅研修会	高松市		生活相談員	真鍋 貴司
9月20日	認定調査員現任研修会	丸亀市		統括課長	平田 裕二

職員研修派遣状況

日 付	研 修 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
9月22日	労務管理研修会	高松市		統括課長	平田裕二
9月26日	香川県認知症介護基礎研修	丸亀市		介護主任	大西結花
9月28日	福祉サービス苦情解決事業研修会	高松市		施設長	栗田猛
〃	〃	〃		生活相談員	三角龍史
9月29日	社会福祉施設等施設長研修会	高松市		介護課長	篠原則子
10月・5日間	香川県認知症介護実践研修(実践リーダー研修)	丸亀市		介護主任	山元郁美
10月5日	不在者投票事務説明会	高松市		生活相談員	真鍋貴司
10月6日、7日	オールジャパンケアコンテスト		鳥取県	介護職員	山本まどか
10月9日	かがわ介護フェア	高松市		〃	三谷有加莉
10月10日	介護トピックセミナー	〃		〃	山口崇行
10月19日	安全運転管理者講習	まんのう町		施設長	栗田猛
10月26日	高知家統一基本ケアセミナー		高知県	統括課長	平田裕二
〃	四国経営品質協議会定例会	高松市		センター長	久保渕修
10月31日	優良安全運転管理者表彰	〃		施設長	栗田猛
11月1日	管理者職員研修	〃		介護課長	篠原則子
11月6日、7日	ノーリフト基本技術ケアセミナー		高知県	介護主任	大西結花
11月・5日間	香川県認知症介護実践研修(実践者研修)	丸亀市		介護職員	山崎空
11月10日	香川県喀痰吸引等研修事業実地研修コース後期	高松市		看護課長	松下葉子
〃	〃	〃		介護職員	三谷有加莉
11月20日、21日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	〃		〃	白川晴奈
11月29日	業界研究合同企業セミナー	善通寺市		〃	田太彩
12月1日、2日	ノーリフト基本指導者養成コース		高知県	介護主任	大西結花
12月9日	まんのう町社会福祉大会	まんのう町		生活相談員	真鍋貴司
12月11日	香川県認知症介護実践研修(実践者研修)	丸亀市		介護職員	山崎空
12月11日	外国人技能実習指導員講習会	〃		介護課長	篠原則子
12月・4日間	インドネシア視察		インドネシア	施設長	栗田猛
12月19日	まんのう町福祉避難所検討会	まんのう町		施設長	栗田猛
1月18日	香川県老人福祉協議会研究大会	高松市		生活相談員	真鍋貴司
〃	〃	〃		介護職員	松浦幸平
〃	〃	〃		事務員	中西幸代

職員研修派遣状況

日 付	研 修 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
1月22日	介護ロボットキャラバン	坂出市		統括課長	平田裕二
〃	〃	〃		介護主任	石井みか
1月24日	四国経営品質協議会定例会	高松市		施設長	栗田猛
1月25日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	〃		介護職員	白川晴奈
1月29日	都道府県経営協セミナー	〃		統括課長	平田裕二
1月31日	香川おもいやりネットワーク事業総合 相談・支援担当者等連絡会	〃		施設長	栗田猛
2月7日	香川おもいやりネットワーク事業実践 総括セミナー	高松市		施設長	栗田猛
2月8日	接遇力研修会	〃		介護職員	木村優花
2月9日、10日	むつき庵高知おむつフitter3級研修		高知県	〃	山口崇行
2月14日	災害福祉支援セミナー	高松市		施設長	栗田猛
2月15日	脳が喜ぶ心が笑う臨床美術体験会	善通寺市		介護職員	田太彩
2月22日、23日	経営品質年次大会 顧客価値経営 フォーラム		東京都	施設長	栗田猛
2月26日	社会福祉法人経営青年会セミナー	高松市		〃	〃
3月2日	リクナビ2019就活開幕☆LIVE高松	〃		介護職員	三谷有加莉
〃	〃	〃		〃	山口崇行
3月7日	香川短期大学実習指導者会	宇多津町		介護課長	篠原則子
3月8日	かがわーくフェア「春の就職面接会&企業説明会」	高松市		施設長	栗田猛
3月8日	在宅医療介護連携を進めていくために	まんのう町		生活相談員	谷江京子
3月20日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	〃		介護職員	白川晴奈
3月22日	集団指導 (通所介護)	高松市		センター長	久保渕修
3月27日	〃 (介護保険施設等)	〃		生活相談員	真鍋貴司

施設内研修等（防災訓練を含む）

月 日	研修内容	参加人員	講 師
7月下旬	身体拘束廃止（スピーチロック）研修	44名	介護主任
7月25日～30日	非常用小型発電機の操作訓練	21名	リスクマネジメント委員
7月下旬	ケース記録研修	44名	研修委員
9月25、29日	AED・心肺蘇生研修	26名	安全委員会
11月17、27日	MRSA・インフルエンザ予防研修	36名	感染症予防委員
12月7日	緊急連絡網連絡訓練	43名	リスクマネジメント委員
12月18、29日	経営資源の意識研修	44名	リスクマネジメント委員
12月21、26日	手洗い、うがい研修	46名	感染症予防委員
12月22日	日中想定 of 防災訓練	15名	四国アラーム
12月28日	個人情報、プライバシー研修	46名	研修委員
3月下旬	ヒヤリ・ハット研修	36名	リスクマネジメント委員
3月下旬	服薬チェック研修	36名	研修委員
3月27日	夜間想定 of 防災訓練	10名	仲多度南部消防署

実習等受け入れ状況

実習者名（団体名）	期間	実人員	延日数
教員免許特例法による介護等体験事業	4月24日～4月28日	1	5
四国学院大学社会福祉学科	8月21日～9月22日	1	23
教員免許特例法による介護等体験事業	9月4日～9月8日	1	5
傾聴ボランティア養成講座	9月19日、26日	4	2
満濃中学校職場体験	11月15日～17日	2	3
中・高生の職場体験研修	3月28日	1	1

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	287
在宅(通所・居支・その他)	80
計	367

②発生場所別

場所	件数
居室	117
廊下	5
浴室	30
脱衣室	15
ホール	107
トイレ	14
食堂	0
玄関	7
施設外	27
その他	45
計	367

③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	36
転落	52
誤飲・誤嚥	0
異食	0
服薬管理	5
自傷行為	1
徘徊	0
入所者間トラブル	0
器物損壊	5
皮下出血	105
紛失	5
金銭管理の事故	1
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	3
職員の介助中の事故	18
私物返し忘れ	46
表皮剥離	17
その他	73
計	367

④発生時間帯別

時間帯	件数
朝	8時 ～ 10時 58
	10時 ～ 12時 73
昼	12時 ～ 14時 32
	14時 ～ 16時 53
夕	16時 ～ 18時 48
	18時 ～ 20時 37
夜間	20時 ～ 22時 7
	22時 ～ 24時 6
	0時 ～ 2時 10
	2時 ～ 4時 6
早朝	4時 ～ 6時 16
	6時 ～ 8時 21
計	367

⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	3
打撲	10
皮下出血	112
すり傷	6
裂傷	11
呼吸困難	0
嘔吐	0
表皮剥離	18
精神不安定	0
外傷等なし	78
利用者の物品管理	76
送迎関係	3
服薬・異常なし	5
その他	45
計	367

⑥発生月別

月 別	件数
4月	24
5月	37
6月	36
7月	29
8月	31
9月	28
10月	34
11月	29
12月	24
1月	27
2月	30
3月	38
計	367

⑦保険者への報告

内 容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	1
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	0
計	1

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

月 別	件数
4月	36
5月	39
6月	30
7月	27
8月	24
9月	30
10月	38
11月	33
12月	32
1月	27
2月	25
3月	30
計	371

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関わる事項	2	1	3		0	6
②個人の嗜好・選択に関わる事項	0	0	0		0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0		0	0
④制度、施策、法律に関わる要望	0	0	0		0	0
⑤その他	0	0	1		0	1
合 計	2	1	4		0	7

身体拘束の状況

平成29年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	4	お花見	50	20	44	5
5	14	入所ご利用者家族会	0	0	22	0
5	25	春の野外食	42	24	0	0
5	29～6.2	ほたる観賞	12	0	0	0
7	7	七夕	0	25	0	0
7	9	ひまわり観賞	31	0	9	32
7	29	夏まつり	45	0	24	39
8	3	浴衣茶会	42	21	0	11
9	14	敬老会(通所)	0	24	0	9
9	17	敬老会(施設)・大正琴の訪問	30	0	0	4
10	2	月見茶会	41	23	0	10
10	27	秋の野外食	42	28	0	0
10	17	運動会	0	27	0	0
11	12	文化祭作品出展	0	15	0	0
11	24・26	入所ご利用者家族会	25	0	34	0
12	25	クリスマス会	50	26	0	5
12	27	餅つき	16	22	0	5
1	5	初釜茶会	39	20	0	10
1	17	初笑い会	0	23	0	0
2	2	豆まき	40	24	0	0
3	2	ひなまつり	0	24	0	0
3	26	花見茶会	28	20	0	0

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	手打ちうどん	第3月曜	38	むぎっこの会	昼食の提供
	園外外出	第1・3金曜	3	〃	外出の付き添い
	手作りおやつ	毎月2回	35	安西朱実様	おやつ作り
	花生けクラブ	毎週木曜	20	〃	花生け
	音楽療法	第1・3土曜	15	大浦美樹様他	音楽療法
	散髪外出	毎週水曜	2	近隣の理容店	散髪
	誕生会	誕生日	1	対象者のご家族	誕生日祝い
通所					
	癒しタッチ	第一水曜	15	仲善シルバー	会話をしながら手足のマッサージ
	誕生祝い	誕生日	1	対象ご利用者	誕生日祝い

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
4	23	大正琴の集い(アイレックス)	2	0	琴修会さぬき支部	30
5	16	みんなで歌いましょう	9	15	中家美廣様	1
6	4	笑みの集い(仲南文化ホール)	2	0	笑みクラブ	10
6	4	帆山地区用水清掃	3	0	帆山自治会	30
6	7	衣料品販売	5	0	今田衣料品店	1
7	9	ひまわり祭り	2	0	帆山自治会	50
7	24・25	福祉の校外学習	3	0	琴平高校健康福祉コース	20
8	4	ひまわり会(地域の子供たちとの交流)	0	24	育児サークル	7
8	22	歌や踊り	18	20	なかよし会	4
8	28	本の読み聞かせ	20	15	読書ボランティア	4
9	3	帆山地区災害防災訓練	2	0	帆山地区消防団	20
9	4	歌の披露	21	20	高篠熟年カラオケ同好会	10
9	15	高齢者訪問	6	0	香川県副知事他	4
10	1	高室神社清掃活動	3	0	帆山自治会	30
10	29	オカリナ演奏	13	20	田所美鈴様他	6
11	8	施設見学と福祉の質問	3	0	仲南小学校3年生	36
11	21	みんなで歌いましょう	10	15	中家美廣様	2
12	8	歌や踊り	16	20	なかよし会	4
12	12	歌や遊戯	20	22	仲南こども園	18
12	24	エステ、メイク、ネイル	15	6	彩さ美	4
2	14	こどもとの交流	10	15	育児サークル	6
2	23	社会科学習	3	0	仲南小学校3年生	36
2	28	舞踏	10	20	松岡章子様他	6
3	25	自治会総会	1	0	帆山自治会	40

カフェ・お茶会

月	日	種類	内 容	参加人数	ボランティア数
6	17	ひまわりの家	ティッシュ箱カバー作り、認知症予防テスト	11	0
8	26	〃	シュワシュワサイダー作り、認知症予防トレーニング	9	0
10	28	〃	室内大運動会	8	0
12	16	〃	クリスマスケーキ作り	10	0
2	17	〃	昔の遊び(お手玉、おはじき、かるた等)	9	0

短期入所生活介護

- ・ご利用にあたって、ご利用者やご家族に、日頃の生活状況やご要望を伺い、各部署との連携のもと、安心してご利用していただくことができました。サービス担当者会に参加し、ご利用者に関する情報を担当ケアマネジャー、他事業所等と共有していききました。その内容は、報告書にまとめ、施設内職員に周知していききました。
- ・ご家族やケアマネジャーから緊急受け入れの依頼を受けることがありましたが、限られた情報のなかで、その都度ご家族と連絡を取りながらご利用していただきました。

延べ短期入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	538	545	539	588	574	572	587	527	525	562	522	558	6637
要支援(介護予防)	24	14	31	25	12	13	8	15	15	16	16	22	211
合計	562	559	570	613	586	585	595	542	540	578	538	580	6848
利用率	93.7	90.2	95.0	98.9	94.5	97.5	96.0	90.3	87.1	93.2	96.1	93.5	93.8

介護度別利用状況

介護度	29年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0.0%
要支援2	3	211	3.1%
要介護1	7	673	9.8%
要介護2	11	1552	22.7%
要介護3	12	2414	35.2%
要介護4	4	451	6.6%
要介護5	7	1547	22.6%
合計	44	6848	100%

（２） 通所介護事業

仲南荘老人デイサービスセンター

職員全員で、起こった出来事や課題を話し合う機会を増やし、一つひとつ確認しながら取り組みました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご利用者が安心して過ごしていただけるように、ご利用者に合ったテーブルや歩行器の提供、正しい座位姿勢の確保、移乗方法等をリスクも含めて検討し実践していきました。
- ・当日のご利用者の状況を把握するために、毎朝送迎に出発する前にも打ち合わせをしていきました。
- ・接遇研修や身体拘束防止の研修は、具体的に分かりやすいように、個別ケースで検討していきました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・日常生活の動作に活かせる計画を立て、ご利用者に目的や効果を説明して実践していきました。
- ・正しい姿勢で食事が摂れるように、食事前に声をかけ、座位姿勢を確認していきました。
- ・口腔機能を観察し、みえてきた課題をご家族・ケアマネジャーに報告し、介護計画に反映していきました。

3. 地域社会との関係を活かしたサービスの提供

- ・居宅介護支援事業所のケアマネジャーとは、随時の電話連絡だけでなく月に一度は訪問し、ご利用者のご利用時の様子や課題の情報を共有していきました。
- ・3ヵ月に一度、ご利用者が手打ちうどん作りに参加するようにして、ボランティアの方々と交流できるようにしました。

4. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・毎朝のミーティングや毎月の通所会で、その時の課題について活発に意見交換できました。職員間のコミュニケーションを大切に取り組んでいましたが、まだまだ報告・連絡・相談ともに不十分です。
- ・職員個々の役割を明確にして責任を自覚するように、業務の見直しを行いました。
- ・ご利用者ごとのサービス提供の方法を考え、職員の腰痛予防に取り組みました。腰痛を持っている職員はいますが軽減されています。

通所介護事業実績

定員・・・月～金曜 30名 土・日曜 15名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用実人員	68	68	72	71	69	69	75	76	73	71	71	72	855
利用延人数	625	663	668	638	639	628	685	672	642	594	536	623	7613
利用率 (月～金曜)	81.2	81.2	86.1	80.5	77.8	81.4	85.5	85.9	81.3	72.6	74.3	78.5	80.5
利用率 (土・日曜)	92.0	85.8	83.3	87.3	85.0	85.9	89.6	87.5	86.7	77.5	75.0	77.8	84.4

介護度別利用状況

介護度	29年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	5	122	1.6%
要支援2	10	791	10.4%
要介護1	19	2097	27.5%
要介護2	18	2533	33.3%
要介護3	18	1864	24.5%
要介護4	2	29	0.4%
要介護5	2	177	2.3%
合計	74	7613	100%

(3)その他の事業

1. 仲南荘老人介護支援センター

(1) 老人介護支援センター事業

- ・施設入所についての問い合わせや、短期入所・通所介護の利用相談には、担当者に引き継ぎ対応していきました。行政に連絡するような事案はありませんでした。

(2) 家族介護者交流事業

- ・11/16に行われました。ご家族が日帰り旅行に行かれている間、ご利用者は短期入所か通所介護の利用調整をして受け入れました。

(3) おもいやりネットワーク事業

- ・地元の社会福祉協議会と話し合いは行っていますが、活動実績はありません。地域に向けての事業内容の周知が十分できていません。
- ・県が主催する報告会や研修会には参加し、他団体の活動を知ることができました。

2. 生きがい活動支援通所事業

- ・ご利用者が、介護が必要なく、いつまでも自立した生活を送ることができるように、自分でできることを意識したプログラムを考え提供していきました。
- ・ご利用者の中で、介護認定を受けられる方がおられた時は、これまでの関係を活かし、介護保険の通所事業に引き継いでいきました。

生きがいデイサービス 利用実績

まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	8	4	8	4	7	5	8	4	8	4	7	5	72
利用延人員	62	23	55	23	32	30	41	21	42	20	30	22	401
1日平均利用者	7.8	5.8	6.9	5.8	4.6	6.0	5.1	5.3	5.3	5.0	4.3	4.4	5.6

琴平町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	4	2	2	4	2	4	4	2	1	2	2	4	33
利用延人員	28	9	9	21	10	20	17	9	4	9	8	15	159
1日平均利用者	7.0	4.5	4.5	5.3	5.0	5.0	4.3	4.5	4.0	4.5	4.0	3.8	4.8

年間行事等実施状況

月	実施内容	備考(詳細)	参加人員
4	緊急連絡先の確認、認知症予防体操	脳トレプリント、音楽に合わせて軽体操	90
5	買物外出	財田の道の駅	32
6	総合事業の説明、筋力低下予防体操	資料配布と説明、軽運動	64
7	脱水症予防教室	脱水症を予防するためのゲーム	44
8	熱中症予防教室	熱中症を予防するためのゲーム	42
9	ゲームを楽しむ	名前当てゲーム、連想ゲーム、ピンポン玉入れゲーム	50
10	月見茶会、頭の体操	お茶会に参加、交通安全クイズ	58
11	買物外出、食事の嗜好調査	マルヨシセンター、食事内容の聞き取り	30
12	感染症予防教室	感染症を予防するためのゲーム	46
1	お正月ゲーム	健康すごろく、脳トレーニング	29
2	下肢筋力低下予防体操、次年度の班説明	筋トレ体操、30年度上半期の利用日の説明	38
3	花見茶会、リハビリ体操	お茶会参加、タオルや棒を使って体操	37

IV. 特別養護老人ホーム

やすらぎ 荘

(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

過疎の進む地域の中でご利用者、ご家族、地域の方々と交流を通して施設の役割を考え取り組みました。

防災については、お茶のまん会のテーマとして取り上げ、地域の方々と一緒に災害時の備えについて考えました。家族会では、地震や土砂災害の避難計画について説明しました。職員の土砂災害研修も実施し、防災意識の向上や行動計画の確認を行いました。

2月の寒波の影響で断水も経験し、関係機関との連携や職員参集、必要物品の確保などライフラインの大切さを実感しました。

介護老人福祉施設

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご利用者との関わりの中で意思の確認ができるように会話からご要望に耳を傾けました。
- ・職員間で情報共有を行ない、ケアが統一できるよう取り組みました。
- ・ご利用者一人一人に合ったポジショニングができるよう職員同士で意見を出し合ったり、研修を行いスキルアップに努めました。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・バイタルサインの測定、年2回の検尿、年1回の血液検査と多職種との連携による情報収集を行い、主治医との連携のもと異常の早期発見、早期対応が行えました。
- ・インフルエンザ予防接種、レントゲンによる結核検診を実施し、ご利用者の施設内感染予防を行いました。
- ・個別機能訓練計画を作成し、無理のないリハビリを実施し、機能の維持に努めました。また、3か月ごとにモニタリングを行い、ご家族に報告し同意をいただきました。

3. 食生活の充実

- ・今年度から、多職種の協働のもと栄養マネジメントを実施しました。体重や食事摂取量、疾病の有無などの情報を基に、健康においしく食事が食べられるよう、食事内容を検討し提供しました。
- ・旬の食材を取り入れた献立を委託先栄養士と共に検討し、季節を感じていただける食事を提供しました。
- ・異物混入が数回ありましたが、その都度対策を委託業者と検討しました。その後は異物混入はみられていません。

4. 適切な相談支援

- ・体調の変化時には、早期に状態報告を行いました。また、ターミナル期のご家族との話し合い時には、嘱託医師にも参加いただき、医療の立場からの意見をご家族に伝えていくようにしました。
- ・新規入所時には、施設見学と合わせてサービス内容について、ご家族の希望と施設が提供できるサービスの違いが発生しないように十分な説明を行い、入所していただきました。

5. 積極的な地域社会との交流

- ・施設と地域の交流事業として「お茶のまん会」を開催しました。地域住民の方と施設職員との関係づくりを行いました。会を重ねるごとに顔なじみの関係作りが出来ています。
- ・施設職員が琴南地区の登録ボランティア研修会へ参加し、活動報告と腰痛予防について研修し、意見交換も行いました。
- ・琴南小学校との交流事業として、3回の施設訪問を受け入れました。また、小学校に出向いての出張講座を実施し、高齢者の特徴や認知症についての知識を伝えました。

6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・職員会では、「知愛一如」手帳を活用し、毎月ひとつの項目について参加職員全員が自分の考えや意見を述べました。それぞれの立場で他職員の意見や考えを聞くことで共感したり、違いについても共有することができました。
- ・委員会や各部署会に参加した職員全員が自分の意見を発言できるように、委員会等の開催日を2週間前には周知しました。発言できない時もあり十分ではありませんでした。

7. 平成29年度委員会活動

◇研修委員会

- ・研修委員会は各委員会と連携し研修を実施しました。すべての研修では、目的を明確にして実施することができました。
- ・職員それぞれに合った外部研修に参加していますが、施設内研修に取り入れることのできる外部研修が少なく、職員間での共有には至りませんでした。

◇リスクマネジメント委員会

- ・年2回の防火訓練と土砂災害、緊急通報の訓練を実施しました。実施した訓練からマニュアルの見直しを行いました。
- ・毎月、介護会にて事故のモニタリングを実施し同様な事故が起こらないように話し合いを行いました。

◇サービス向上委員会

- ・施設、通所、居宅それぞれにご利用者アンケートを実施し、その結果から対応策を検討、改善する事ができました。
- ・第三者評価の項目を用いて全職員に自己評価を記入してもらい、一人一人が自らの仕事を振り返ることができました。
- ・マニュアルの見直し、更新はできませんでした。

◇広報委員会

- ・ホームページ「やすらぎの窓」は毎月一回以上の更新を行いました。ホームページもリニューアルし、これに合わせて記事や写真の内容を工夫しました。

- ・計画では年2回広報誌を発行することになっていましたが、計画通りに進めることができず、今年度の発行はできませんでした。

◇身体拘束廃止委員会

- ・年2回の研修を実施し、スピーチロックやこういった言動が身体拘束になるかを職員一人ひとりが意識して学びました。

◇安全委員会

- ・消防署救急隊員指導のもと救命処置研修を行い、緊急時の対応の仕方について学びました。
- ・嘱託医師にも参加いただき、毎月1回委員会を開催し、問題点を話し合い解決に向けて取り組みました。
- ・喀痰吸引研修事業に2名が参加し、実地訓練を実施していましたが、対象者が不在となり年度内に実地訓練を修了することができませんでした。

◇感染防止委員会

- ・6月に食中毒、12月は感染性胃腸炎、吐物処理の実技研修を行い、職員の意識向上に結びました。
- ・3月、インフルエンザの流行があり、全職員一丸となりマニュアルに沿って感染対策を行いました。

◇ポジショニング褥瘡予防委員会

- ・ご利用者の皮膚状態を把握し多職種で情報を共有し早期対応に結びました。
- ・ポジショニングの外部研修に参加した職員が現場職員に伝えることにより、ご利用者の安全で安楽な生活の提供を目指しました。

◇労働安全衛生委員会

- ・安全運転講習会を梅雨時、冬季の2回開催し交通安全啓発を行いました。
- ・毎月テーマを決めそれぞれの担当者から話をしてもらい職員の職場環境や健康、防災などについて話を深めました。その内容は、各部署へ持ちかえり情報共有を行いました。
- ・外部講師を招き「メタボリック症候群」について研修を実施しました。
- ・腰痛予防の取り組みとしてノーリフティング研修の実施や腰痛予防啓発ポスターを作成しました。

◇給食委員会

- ・2週間に1度、多職種と委託業者が参加し、給食の内容について意見交換を行いました。その反省点を次回の献立作成に生かせるよう、委託業者との打ち合わせも行い、より良い食事提供と衛生管理について話し合いました。
- ・2月の断水時には、委託業者の協力のもと、使い捨て食器を使って、衛生面にも安全面にも考慮しながら、食事を欠かすことなく提供できました。

特別養護老人ホームやすらぎ荘

施設利用状況

	入所	退所					月間 空床率	延べ利用者数
		死　　亡		長期入 院	施設間 移動	計		
		施設内	病院					
4月	1	0	0	0	0	0	4.8	887
5月	1	1	1	0	0	2	3.7	914
6月	1	1	0	0	0	1	1.0	890
7月	0	2	0	0	0	2	4.8	895
8月	3	0	0	0	0	0	4.3	921
9月	0	0	0	0	0	0	0.0	900
10月	0	0	0	0	0	0	0.0	930
11月	0	0	0	0	0	0	0.0	900
12月	2	2	0	0	0	2	1.7	912
1月	0	0	0	0	0	0	0.0	930
2月	1	2	0	0	0	2	0.2	838
3月	1	1	0	0	0	1	4.7	916
計	10	9	1	0	0	10		10833

介護度別	平成29年度末				年間延べ利用者数
介 護 度	男	女	計	比率	
要介護 1	0	0	0	0.0	0
要介護 2	1	1	2	6.9	730
要介護 3	2	9	11	37.9	4207
要介護 4	1	10	11	37.9	3588
要介護 5	0	5	5	17.3	2308
計	4	25	29	100	10833
		平均	3.7		

市町別	平成29年度末	年間	
市町名	利用者数	入所数	退所数
まんのう町	26	9	9
三豊市	2	1	1
丸亀市	1	0	0
計	29	10	10

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
入院	43	19	0	7	30	0	0	0	0	0	2	31

年齢分布

年 齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男 性	0	0	2	1	1	4	89.25	100	81
女 性	0	2	7	16	0	25	89.81	98	74
計	0	2	9	17	1	29	89.73		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M
人数	0	0	3	8	10	5	3	0

入所平均在所期間

男 性	4年0か月
女 性	3年1か月
全 体	3年5か月

診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	12	15	15	16	14	12	12	14	13	13	14	15	165
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	9	6	7	6	6	8	6	8	7	7	7	4	81
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	21	21	22	22	20	20	18	22	20	20	21	19	246

診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1	1	0	1	1	2	0	3	2	3	1	1	16
整形外科	1	1	0	2	0	0	1	0	0	0	1	1	7
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	4
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	1	0	6
泌尿器科	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
脳神経外科	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
精神科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	3	3	2	3	2	5	1	4	4	4	4	4	39

リハビリテーション実施状況（平成29年度末・重複あり）

種目	ホットパック	マイクロ波	ハドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	肋木運動	滑車運動	生活リハビリ	入浴時運動	RO時体操	おしぼり巻き等作業	摂食動作訓練
対象者数	3	0	6	0	0	5	5	7	6	0	0	0	5	5

食事形態の状況

	普通食	きざみ食	極きざみ食	つぶし食	経管栄養	合計
平成29年度末	8	8	7	4	2	29

栄養ケアマネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
平成29年度末	24	1	0	25

職員研修派遣状況

日 付	研 修 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
5月12日	仲多度南部危険物安全協会定時総会	琴平町		所長	田中博之
5月17日	まんのう町琴南地区戦没者追悼式	まんのう町		施設長	盛優子
5月25日	第1回老人福祉協議会総会	高松市		施設長	盛優子
5月26日	四国経営品質協議会第1回定例会	"		通所課長	森末裕之
5月30日	介護施設における医療行為を安全に実施するための施設長研修	"		施設長	盛優子
6月15日	レクレーション・アクティビティ研修会	"		生活相談員	白川裕二
6月16日	介護施設における医療行為を安全に実施するための看護師等研修	"		看護課長	堀家和田子
6月21日	四国医療福祉専門学校実習意見交換会	"		介護課長	山本永利子
6月22,24,27,28日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	"		介護支援専門員	香川ゆかり
6月27,28,29日	第2種衛生管理者免許試験受験準備講習会	"		統括課長	近藤晃敬
7月5日	四国経営品質協議会第2回定例会	"		所長	田中博之
7月5日～9月1日	香川県喀痰吸引研修事業基本研修	"		介護職員	松本美智子
7月7日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	"		介護支援専門員	香川ゆかり
7月19日	第39回琴南地区文化祭運営委員会	まんのう町		生活相談員	松浦幸平
8月5日	香川県喀痰吸引等研修事業技能確認研修	高松市		介護職員	小山千怜
8月14日	リスクマネジメント研修会	"		"	森田亘
8月21日	都道府県経営協セミナー	"		統括課長	近藤晃敬
8月24日	給食施設管理者等研修会	丸亀市		管理栄養士	上岡由希子
8月27日	香川県国保地域医療学会	高松市		統括課長	近藤晃敬
"	"	"		介護主任	真鍋博輝
"	"	"		介護職員	守家太郎
9月11,12,13,14,15日	認知症介護実践リーダー研修	丸亀市		介護主任	真鍋博輝
9月13日	認定調査員現任研修会	高松市		統括課長	近藤晃敬
9月20日	"	丸亀市		介護支援専門員	渡辺悦子
9月26日	認知症会介護基礎研修	"		介護職員	小山千怜
"	"	"		生活相談員	松浦幸平
9月28日	福祉サービス苦情解決研修会	高松市		介護職員	三宅量子
9月29日	第18回琴南老人ふれあいスポーツ大会	まんのう町		施設長	盛優子
10月2,3,4,5,30日	認知症介護実践リーダー研修	丸亀市		介護主任	真鍋博輝
10月10日	介護トピックセミナー	高松市		介護職員	牧歩未
10月11日	琴南地区文化祭第2回運営委員会	まんのう町		通所課長	森末裕之
10月14,18,21,27,28日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	高松市		統括課長	近藤晃敬
11月17日	結核・感染症研修会	丸亀市		看護職員	梶谷千加子
11月20日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	高松市		介護職員	小山千怜
12月7日	認知症予防研修会	"		介護職員	近井佳代子

職員研修派遣状況

日 付	研 修 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
12月9日	自主防犯活動リーダー研修会	高松市		通所課長	森末裕之
"	第12回まんのう町社会福祉大会	まんのう町		施設長	盛優子
12月13日	身元保証人不在者対応に関する研修会	高松市		統括課長	近藤晃敬
12月13,14,18, 20,26日	介護支援専門員再研修受講	"		通所課長	森末裕之
1月10,17,19日	"	"		"	"
1月24日	四国経営品質協議会第6回定例会	"		施設長	盛優子
1月25日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	高松市		介護職員	小山千怜
1月26日	第3回介護支援専門員連絡会	琴平町		介護支援専門員	渡辺悦子
2月8日	接遇力研修会	高松市		介護職員	川口千穂美
2月9,10日	おむつフィッター3級研修		高知県	介護職員	久保味沙
2月14日	災害福祉支援セミナーシンポジウム	"		統括課長	近藤晃敬
"	"	"		施設長	盛優子
2月21,27日	介護支援専門員再研修受講	"		通所課長	森末裕之
3月1,7,13,15, 20日	"	"		"	"
3月1日	介護保険施設における看護実務者研修会	"		看護課長	堀家子
3月7日	琴南地区登録ボランティア研修会・交流会	まんのう町		統括課長	近藤晃敬
"	"	"		介護課長	山本永利子
3月8日	在宅医療介護連携を進めていくために	"		介護支援専門員	香川ゆかり
"	"	"		看護職員	稲毛真由美
3月12,13日	高知家統一基本セミナー①②		高知県	介護主任	真鍋博輝
3月20日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	高松市		介護職員	小山千怜
3月22日	平成29年度集団指導	高松市		通所課長	森末裕之
3月26日	"	"		介護支援専門員	香川ゆかり
3月26日	第2回老人福祉協議会総会	"		施設長	盛優子
3月27日	平成29年度集団指導	"		統括課長	近藤晃敬

施設内研修等（防災訓練を含む）

月 日	研修内容	参加人員	講 師
5月24日	認知症研修	14	久保味沙・守家太郎
9月19・21日	苦情研修	12	松浦幸平
9月21日	リスクマネジメント研修	6	真鍋博輝
11月1日	シェイクアウト地震・火災訓練	11	リスクマネジメント委員会
11月2日	身体拘束廃止研修	8	守家太郎
11月16日	褥瘡・拘縮予防研修	10	久保味沙
12月21日	感染性胃腸炎・吐物処理研修	10	山本永利子・小山千怜・谷川乃理子
1月31日	土砂災害緊急通報訓練	15	リスクマネジメント委員会
2月7日	身体拘束廃止研修	7	守家太郎
2月14日	個人情報・プライバシーに関する研修	10	川口千穂美・小山千怜
3月26日	防災訓練（日中想定）	15	仲多度南部消防
3月26日	AED訓練	15	仲多度南部消防

実習等受け入れ状況

実習者名（団体名）	期間	実人員	延日数
四国医療福祉専門学校	7月4日～7月19日	1	10

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	116
在宅(通所・居支・その他)	38
計	154

②発生場所別

場所	件数
居室	38
廊下	5
浴室	16
脱衣室	5
ホール	40
トイレ	9
食堂	17
玄関	2
施設外	11
その他	11
計	154

③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	28
転落	29
誤飲・誤嚥	0
異食	0
服薬管理	7
自傷行為	0
徘徊	0
入所者間トラブル	0
器物損壊	8
皮下出血	17
紛失	0
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	4
職員の介助中の事故	4
私物返し忘れ	8
表皮剥離	15
その他	34
計	154

④発生時間帯別

時間帯	件数
朝	8時 ～ 10時 30
	10時 ～ 12時 24
昼	12時 ～ 14時 21
	14時 ～ 16時 28
夕	16時 ～ 18時 12
	18時 ～ 20時 12
夜間	20時 ～ 22時 5
	22時 ～ 24時 4
	0時 ～ 2時 2
	2時 ～ 4時 2
早朝	4時 ～ 6時 6
	6時 ～ 8時 8
計	154

⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	3
打撲	3
皮下出血	17
すり傷	1
裂傷	2
呼吸困難	0
嘔吐	0
表皮剥離	17
精神不安定	0
外傷等なし	56
利用者の物品管理	11
送迎関係	6
服薬・異常なし	4
その他	34
計	154

⑥発生月別

月 別	件数
4月	9
5月	9
6月	9
7月	17
8月	10
9月	7
10月	15
11月	21
12月	17
1月	19
2月	16
3月	5
計	154

⑦保険者への報告

内 容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	1
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	1
計	2

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

月 別	件数
4月	4
5月	3
6月	6
7月	6
8月	11
9月	4
10月	3
11月	8
12月	6
1月	4
2月	6
3月	6
計	67

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関わる事項	1	0	1	0	1	3
②個人の嗜好・選択に関わる事項	0	0	0	0	0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0	0	1	1
④制度、施策、法律に関わる要望	0	0	1	0	0	1
⑤その他	0	0	0	0	0	0
合 計	1	0	2	0	2	5

身体拘束の状況

平成29年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	13	お花見	29	11	4	0
4	14	お花見散策	0	7	0	0
5	26	野外食	30	0	2	0
6	28	交通安全教室(県交通安全協会による講義)	0	19	0	0
6	30	フルート演奏	0	20	0	0
7	7	七夕まつり	0	16	0	0
7	21	夏祭り	30	0	0	0
8	21	盆踊り	0	18	0	0
9	18	運動会	0	19	0	0
10	20	野外食	28	0	0	0
11	22	交通安全教室(県交通安全協会による講義)	0	20	0	0
12	22	クリスマス会	30	22	0	0
12	25	クリスマス会	0	20	0	0
12	28	餅つき	27	0	0	0
1	23	初笑い会	0	13	0	0
2	2	節分豆まき	30	13	0	0
2	16	餅つき	0	19	0	0
3	5	ひな祭り	31	0	0	0

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	散髪ボランティア	第1金曜日	3	まんのう町社協	理美容室で出かける
	散髪ボランティア	第3水曜日	3	まんのう町社協	理美容室で出かける
	散髪ボランティア	第4水曜日	3	まんのう町社協	理美容室で出かける
	うきうき外出	第1水曜日	4	まんのう町社協	
	音楽療法	第2・4水曜日	25	豊嶋様他	
	法話	第3木曜日	25	高尾様	妙覚寺住職
通所					
	誕生日祝い	誕生月の初回利用日	18		写真立てをプレゼント
	カラオケ	随時	10		リクエストに合わせて選曲
	作品作り	随時	8	堀田様	文化祭に出展
	運動レクリエーション	随時	18	堀田様	ゲーム性を取り入れたリハビリ
	脳トレーニング	随時	8	堀田様	漢字、計算、間違い探し、ぬり絵、習字
	家庭菜園と調理	随時	7		収穫した野菜を調理し、昼食の一品にする

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
4	10	げんき会訪問	0	15	げんき会	8
4	25	オカリナ演奏	21	7	オカリナグループ	2
5	28	花の植替え	0	0	親子ボランティアの会	3
7	30	草刈りボランティア	0	0	檀那会	25
7	10	琴南小学校訪問	20	15	琴南小学校	15
8	1	いろは保育園訪問	20	15	いろは保育園	20
8	22	すみれ会訪問	20	15	すみれ会	10
9	1	地域清掃ゴミ拾い	0	0	やすらぎ荘職員	14
9	28	そば打ち	20	0	そばっこの会	10
10	25	琴南小学校出前講義	0	0	やすらぎ荘職員	1
11	2	琴南小学校訪問	20	15	琴南小学校	15
11	23	キッズダンスショー	20	0	キッズダンス教室	20
12	10	草刈りボランティア	0	0	檀那会	25
12	11	手作りおはぎ訪問	20	0	老人クラブ琴南支部	10
12	24	車椅子清掃・花の植替え	0	0	親子ボランティアの会	3
1	7	七草粥訪問	30	0	親子ボランティアの会	10
2	27	そば打ち	20	15	そばっこの会	10

カフェ・お茶会

月	日	種類	内容	参加人数	ボランティア数
6	10	お茶のまん会	手作り防災グッズ	19	1
9	9	お茶のまん会	防災備蓄の食料品紹介 アルファ米おはぎ作り	17	1
11	11	お茶のまん会	パッククッキング 防災の備えについて	16	2

短期入所生活介護

- ・ケアマネジャーと密な連携を図りながら、ご希望に沿った利用に繋がるように受け入れを行いました。状態の変化時には、ご家族・ケアマネジャー・施設との連絡を行い、情報の共有を図るようにしました。

延べ短期入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	162	155	138	184	169	171	172	157	169	164	157	147	1945
要支援(介護予防)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	162	155	138	184	169	171	172	157	169	164	157	147	1945
利用率	90.0	83.3	76.7	98.9	90.9	95.0	92.5	87.2	90.9	88.2	93.5	79.0	88.8

介護度別利用状況

介護度	29年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0.0%
要支援2	0	0	0.0%
要介護1	2	140	7.2%
要介護2	7	1428	73.4%
要介護3	1	294	15.1%
要介護4	2	23	1.2%
要介護5	1	60	3.1%
合計	13	1945	100%

(2) 通所介護事業

やすらぎ荘老人デイサービスセンター

今年度は積雪が多い年で送迎が困難な時もありましたが、外出機会の少ないご利用者にとってはデイサービスが楽しみの一つでもあります。雪かきをしながら迎えに行くと感謝の言葉をいただき、それが職員の喜びにもつながりました。

1 月には、香川県による実地指導があり、より良いサービスに向けたアドバイスを受けました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・担当者会前の事業所内カンファレンスにおいて、気づきや提案、相談事を持ち寄り、共通認識を持って担当者に臨むことができました。
- ・月 1 回の通所会、毎日のミーティングを活用し、提供するサービスについて気づきや提案を持ち寄る機会としました。特に、接遇、言葉遣いについては幾度もテーマに取り上げ、「話し相手だけでなく、第三者がみてどう感じるだろう」と話し合いました。
- ・毎月のモニタリングでは、通所介護計画に沿った情報を提供しました。しかし、県の実地指導において、通所介護計画の目標設定をより具体的にしよう指導を受けたことから、同様にモニタリングも通所介護計画に沿った具体的記載が必要であるとの課題も残りました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・体操前、食事前には必ず体の重心を意識した姿勢の声掛けを行いました。また、机と椅子の高さを適正にするため、低いテーブル、低い椅子、足置き台や座布団を使用し調整しました。車椅子の方には車椅子は移動手段として捉え、椅子に差し替えて床に足を着けることに努めました。丸背の方の臥床時には、体に合ったクッションを据えて安楽な姿勢を確保しました。
- ・状態変化の早期発見、対応につなげるために、バイタルサインでは表れない食事摂取量、体重や表情・言動の変化をご家族、ケアマネジャーへ報告しました。しかし、ご家族が遠方である等、日常的な関わりの難しいご利用者も多く在宅サービスとしての限界も感じました。

3. 地域社会との関係を活かしたサービスの提供

- ・地域のより多くの方に施設を利用していただくため、民生委員会等の会合に参加し、通所介護の活動内容、施設機能を発信しました。また、「琴南の医療と介護の連絡会」に参加し、身近なケースの情報共有や情報提供を行いました。しかし、「施設開放事業（筋力トレーニング）」や新たにスタートした「介護予防・日常生活支援総合事業通所 A」へのご利用にはつながりませんでした。

4. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

特別養護老人ホームやすらぎ荘

- ・職員自身が自分の成長を感じることでできる人事考課シートづくりに努めました、より具体的な目標設定が必要であると感じました。

通所介護事業実績

定員・・・月～金曜 20名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	20	23	22	21	23	21	22	22	21	22	20	22	259
利用実人員	52	51	50	47	47	48	49	54	54	52	49	51	604
利用延人数	343	376	361	330	354	353	356	377	379	360	321	400	4310
利用率 (月～金曜)	85.8	81.7	82.0	78.6	77.0	84.0	80.9	85.7	90.2	81.8	80.3	90.9	83.2

介護度別利用状況

介護度	29年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	4	233	5.4%
要支援2	15	1011	23.4%
要介護1	15	1325	30.7%
要介護2	13	1459	33.9%
要介護3	3	266	6.2%
要介護4	1	16	0.4%
要介護5	0	0	0.0%
合計	51	4310	100%

(3)居宅介護支援事業

1. 適切な業務管理の徹底

- ・必要書類の作成には時間がかかりましたが、ご利用者には適切なサービスを早急にご利用していただけるよう、迅速かつ的確に対応しました。地域包括支援センターが実施する介護給付費適正化事業の中で、ケアプランを提出しました。いただいた助言をケアプランにも反映させました。

2. 業務改善への継続的な取り組み

- ・ご利用者への対応、地域福祉に根差した活動、琴南地区ならではの気候や地形によりおこる問題への対応や相談、また、看取りや困難事例ケースなど、それぞれのケースに合った対応をしました。時間を確保するため、書類作成にかかる時間を削減できるよう、業務改善に努めました。

3. 困難事例への積極的な対応

- ・困難事例のご利用者の生活を支えるために、ご家族への対応や関係機関との調整に、多くの時間を要しました。
数件の困難事例に関しては、地域包括支援センターへ相談しご指導を頂きました。居宅介護支援担当者会でも担当困難事例を挙げ、多数の介護支援専門員の意見を聞くことができました。

4. 関係機関との協力体制

- ・琴南地区医療・介護連絡会に管理者が継続して出席し、現状を報告しました。
琴平町・まんのう町の支援専門員連絡会や琴南地区医療・介護連絡会、正友会の居宅介護支援担当者会に出席し、相談することで、「その人を支えるチームの一員」として、フォーマル・インフォーマル問わず、協力体制を深めることができました。

5. 専門職としてスキルアップできる研修の充実

- ・専門職として知識を深め、適切な判断力が養えるよう、積極的に研修会へ参加しました。

居宅介護支援事業実績

市町別居宅サービス計画実績 ()内要支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
まんのう町	49 (2)	46 (2)	49 (2)	50 (2)	48 (2)	49 (2)	48 (2)	50 (2)	50 (2)	50 (2)	48 (1)	48 (1)	585 (22)
琴平町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
丸亀市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
三豊市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	49 (2)	46 (2)	49 (2)	50 (2)	48 (2)	49 (2)	48 (2)	50 (2)	50 (2)	50 (2)	48 (1)	48 (1)	585 (22)

要介護度別状況 (平成29年度末)

介護度	作成者数
要支援1	0
要支援2	1
要介護1	19
要介護2	21
要介護3	4
要介護4	3
要介護5	1
計	49

支給申請の手続き代行及び認定調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉用具支給申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
住宅改修支給申請	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	5
介護保険申請代行	2	3	1	1	4	2	5	1	5	0	3	5	32
介護保険認定調査	2	2	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	20

(4)その他の事業

1. 給食サービス事業

- ・琴南高齢者ふれあいランドで会食方式にて昼食を提供しました。ご利用者同士の交流に加えて、買物に不便をきたしている方が多いため、近隣のスーパーへお買い物ドライブを実施しました。また、一人暮らしの不安を抱えている方が多く、生活全般に関する相談、アドバイスをしました。

2. 生きがい活動支援通所事業

- ・今年度より、琴南地区のご利用者はやすらぎ荘での利用となりました。新しい環境にも早々に慣れていただきました。健康測定、レクリエーション、電気療法を実施し、健康維持について意識していただけるよう支援しました。新年にはご利用者からの要望を受け、初詣に出掛けました。また、隔月に買物外出を実施し、山あいの地域の不便さ解消の一助となりました。

3. ふれあいランド友の会

- ・山間部という地域性のため外出が困難な方を対象に受診や行政手続き、金融機関への送迎を実施しました。また、ご利用者同士の交流の場を提供し、閉じこもりになるのを防ぎました。心配事、体調不良時、その他相談事には、行政機関、医療機関、ケアマネジャーに連絡し、共に解決することで在宅での生活を支えました。

4. まんのう町琴南高齢者生活福祉センター

- ・今年度は4名が入居し5名が施設入所や入院のため退居しました。退居時にはスムーズに移動先での生活が送られるように情報を提供しました。今年度も入退居の多い年になりましたが、入居者の高齢化が進んでいるのが要因です。朝夕の安否確認、緊急時のナースコールにも迅速に対応しました。町とも密に連絡をとり情報共有に努めました。また、定期的に防災訓練、設備点検、消防署の立入検査を実施し、安心安全な生活環境を維持しました。

給食サービス・安否確認実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回 数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
食 数	24	26	25	22	19	17	21	21	19	18	19	19	250

ふれあいランド友の会実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回 数	4	3	5	4	5	4	4	4	4	4	4	5	50
食 数	36	30	44	34	31	32	30	39	24	22	28	33	383

琴南高齢者生活福祉センター

月別入所世帯(毎月1日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所世帯	10	10	8	9	9	9	9	9	8	10	9	9
人 数	10	10	8	9	9	9	9	9	8	11	9	9

入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 所	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4
退 所	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	5

生きがいデイサービス 利用実績

まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	4	5	4	5	5	4	4	5	4	5	4	5	54
利用延人員	25	26	27	26	32	19	22	21	15	17	16	22	268
1日平均利用者	6.3	5.2	6.8	5.2	6.4	4.8	5.5	4.2	3.8	3.4	4.0	4.4	5.0

年間行事等実施状況

月	実施内容	備考(詳細)	参加人員
4	防犯対策講義	資料に沿って説明	10
5	買物外出	マルナカまんのう店、デイリーマートでの買物	18
6	交通安全教室	香川県交通安全協会より	8
7	買物外出	マルナカまんのう店、デイリーマートでの買物	16
8	脱水症予防勉強会	資料に沿って説明	9
9	買物外出	マルナカまんのう店、マルヨシセンター、デイリーマートでの買物	16
10	脳トレーニング・軽体操	全員で教材に沿って実施	16
11	買物外出 交通安全教室	マルナカまんのう店、マルヨシセンターでの買物 香川県交通安全協会より	15 6
12	脳トレーニング・軽体操	全員で教材に沿って実施	15
1	初詣 買物外出	滝宮天満宮への初詣 マルナカまんのう店、デイリーマートでの買物	10 7
2	脳トレーニング・軽体操	全員で教材に沿って実施	14
3	買物外出	マルナカまんのう店、デイリーマートでの買物	14

V. グループホーム

よりあい

(1) 認知症対応型共同生活介護事業

ご利用者一人ひとりと誠実に向き合うことを心がけ、安心して穏やかに生活を送ることができるように支援しました。認知症になってもご利用者が長年積み重ねてこられた習慣や能力を大切に、その人らしく日々の暮らしの中で役割をもつにはどうすればよいかご本人やご家族と一緒に考えました。「おばあちゃんのごはん」はご利用者・ご家族の皆様にも好評で、今後も継続していきます。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご利用者には何かをする際に、必ず意思確認のできるような声かけを意識して行い、温かみのある表情や態度で認知症のご利用者が安心できるような関わり方をしました。長期入院から退院されて、施設に戻られたご利用者が当初は全く落ち着かれないようなことがありましたが、時間をかけてどの職員もゆったりと対応することで、少しずつですが穏やかに生活できるようになってきています。
- ・ポジショニング推進の取り組みでは、排泄ケアの中でアウターを紙パンツからホルダーパンツへの移行を積極的に行いました。ご利用者の中では「普通の下着みたい」と喜ばれたり、肌触りもよく不快感も少なくなったという声も聞かれています。また、排泄用物品のコストの削減にもなって、ご利用者やご家族の利用料の負担の軽減につながりました。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・日々のご利用者の健康状態を観察し、毎週月～土曜日の協力医療機関医師の往診時に変化のあった状態を正確に伝えて指示に従って対応しました。
- ・ご利用者に体調不良や転倒などの事故が起きた場合には、併設デイサービスやグループホームの看護職員と連携して処置等を行い、ご利用者の状態や情報の共有を図りました。
- ・ご利用者の急変時には、職員が連携して迅速に受診や救急搬送等を行いました。

3. 食生活の充実

- ・日常のご利用者との会話や家族アンケートからご利用者の要望や嗜好を伺い献立に取り入れました。ご家族やご近所の方々から頂いた野菜や果物についても、ご利用者に実物をご覧になっていただいて、季節ごとの旬を感じていただきました。
- ・毎月第3金曜日に、「おばあちゃんのごはん」として準備から調理・片付けまでをご利用者全員が主体的に関わって食事作りを行いました。この取り組みの中で、ご利用者の五感に働きかけて、ご利用者が積極的に楽しみながら団欒の雰囲気も作り出せました。

4. 適切な相談支援

- ・入所について相談を受けた時には、施設の入居要件や待機状況、サービス内容についてわかりやすく説明しました。早期入所の希望にそえず相談者が困っているような場合には、他施設の案内や在宅サービスの提案を行う等して、次につなげていきました。
- ・ケアプランでは、ユニット会を利用して話し合いを行い、サービス担当者会議をより有意義なものにし、プラン作成に活かしました。介護支援経過の記載は3か月ごとの記載を

継続できています。

5. 積極的な地域社会との交流

(ご利用者の関わった行事等)

- ・葉ばたんの会をはじめとするボランティア団体の皆様に協力していただき、地域とご利用者の交流の場を継続して設けることができました。近隣の高篠こども園や高篠小学校の子ども達との交流会では、ご利用者も大変喜ばれていて多くの笑顔が交わる場面が見られました。
- ・10月には秋祭りを開催しました。近隣住民の方々を招待し、子どもから大人までご利用者・ご家族・職員と共に祭りを楽しんでいただきました。施設の秋祭りも地元で定着しつつあり、年々祭りの参加人数は増えています。

(施設として地域との関わり)

- ・施設の駐車場を高篠こども園や高篠小学校の関係者にお貸しして、有効に活用していただいています。また、地域の方々と一緒に用水路清掃に職員が参加しました。
- ・高篠地区社協主催の介護教室では、施設で使用している福祉用具を実際に参加者に体験していただきながら、施設で取り組んでいるポジショニングの説明をしました。
- ・まんのう町には認知症グループホームが2施設ありますが、互いの運営推進会議に職員が出席して情報交換を行いました。意見を出し合って、各施設の取り組みに活かせるようにしました。

6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・職員同士の挨拶や言葉づかいについて定期的に確認をし合って、経験年数に限らず社会人として求められる当たり前の行動ができるように上司は意識してユニット会などで伝えていきました。
- ・職場の中で自分の役割に責任を持ち、失敗を恐れず経験を多く積むことが大切であることを職員一人ひとりに伝えました。自分で考えて、その考えを自分の言葉で伝える力を少しでも向上させることができるように、上司は会議や面談で問いかけました。
- ・昨年度は初の新卒採用者の入職がありましたが、今年度も新卒採用者が入りました。昨年度の職員がエルダーとなり、また施設全体で新人の育成に力を入れ、一步一步着実に一緒に成長することができました。

7. 平成29年度委員会活動

各委員会が年間計画に基づき、明確な目的を共有して会議や研修を行い、基本の確認や各自のスキルアップを図りました。

◇研修委員会

- ・年間計画に沿って、各委員会と協力しながら全職員を対象に研修を実施しました。計画にはなかった研修もいくつか取り入れましたが、滞りなく計画通り進めることができました。
- ・研修後に職員が記入した研修アンケートを半年後に本人たちに返して、内容の再確認を継

続して行いました。研修内容を忘れていた職員も少なからずおり、研修で学んだことを一時的なものにしない為にも、今後も続けていきます。

◇事故防止委員会

- ・毎月会議の中で事故とヒヤリ・ハット事例の振り返りを行い、それらの経緯や要因を再確認し、再発防止について話し合いを行いました。また、服薬手順の確認を継続して行い、服薬時に確実な手順で行えるように職員に意識づけました。誤薬事故はありませんでしたが、服薬忘れの事故があり今後も取り組むべき課題となっています。
- ・全職員がヒヤリ・ハット事例報告を毎月一件以上挙げていくことは1年間を通して継続することができました。これからも事故を未然に防ぐことができるように、危険予知に対する認識を職員で共有します。

◇苦情対応委員会

- ・年に2回の家族アンケートを送付し、ご利用者やご家族の声を聴くことができました。挨拶について職員の笑顔が薄れているというご指摘があり、リーダー会やユニット会で話し合って改善しました。また、朝の軽体操が減っているというご意見については、体を動かすことの大切さとご利用者やご家族の思いについて職員で話し合い、業務の見直しにつながりました。

◇業務改善委員会

- ・外部評価の仕組みを活用し、職員一人ひとりが自己評価を行って施設のサービスを振り返りました。次年度の外部評価にもつなげていきます。
- ・前年度まで遅れがちであった業務マニュアルの見直しや更新を計画的に行いました。また、新しくマニュアルの作成も行いました。

◇広報委員会

- ・ホームページの『窓』を毎月更新しました。大きな行事だけでなく、日常の様子も掲載し、グループホームやデイサービスをより多く知っていただける内容を心がけました。
- ・施設の中に行事や日常の様子を掲示し、ご利用者やご家族にご覧になっていただけるようにしました。
- ・広報誌『我が家』第6号を発行しました。デザインやレイアウトを大きく変更し、手にとってご覧になりやすいような工夫をしました。

◇身体拘束廃止委員会

- ・毎月の会議で施設の身体拘束ゼロについて確認しました。虐待につながるような不適切なケアが現場で起きていないかの確認もとりました。
- ・施設内研修を実施し、身体拘束の定義とその先にあるリスクについて全職員の理解を深めました。普段のコミュニケーションの中でも起こりうるスピーチロックや行動を制限する行為について、職員一人ひとりが振り返ることができました。

◇感染症予防対策委員会

- ・感染症が流行する時期に感染症に関する研修を行い、職員の危機管理意識を高めました。また、手洗いやうがい徹底し、外出の際や体調不良時にはマスクを使用するなどして感染予防に努めました。
- ・施設ご利用者の感染症はなく、職員のインフルエンザ発症者は出ましたが、早期発見し状態を毎日把握して対応することにより拡大防止につなげました。

◇ポジショニング委員会

- ・福祉用具を導入し、ご利用者・職員共に負担の少ない介助を行えるようになりました。ポジショニング研修では、基礎的な内容をしっかりと実施して、身体の仕組みを職員が理解することができました。
- ・法人全体で「排泄ケア」に取り組む中で、毎月職員で話し合う場を設け、ご利用者のアセスメントを職員一人ひとりが考えて実践できるようにしました。

◇労働安全衛生委員会

- ・毎月テーマを決め、リーダー会やユニット会で腰痛予防や生活習慣病等について話し合いました。ポスターで職員に対しての注意喚起も行いました。
- ・全職員に労働基準法上の正しい労働時間や休憩、休日、有給休暇について意識づけを行いました。昨年度より有給休暇の取得率は上がりましたが、職員によってまだ偏りがあり、今後の課題としていきます。

施設利用状況

	入所	退所					月間 空床率	延べ利用者数
		死　　亡		長期入 院	施設間 移動	計		
		施設内	病院					
4月	1	0	0	0	0	0	0.4	538
5月	0	0	0	0	0	0	3.7	538
6月	0	0	0	1	0	1	5.6	510
7月	1	0	0	0	0	0	0.4	556
8月	0	0	0	0	0	0	0.5	555
9月	0	0	0	0	0	0	0.0	537
10月	0	0	0	0	0	0	0.0	558
11月	0	0	0	0	0	0	0.0	540
12月	0	0	0	0	0	0	0.0	558
1月	0	1	0	0	0	1	1.8	548
2月	1	0	0	0	0	0	5.2	475
3月	0	0	0	0	0	0	0.7	554
計	3	1	0	1	0	2		6467

介護度別	平成29年度末				年間延べ利用者数
介 護 度	男	女	計	比率	
要介護 1	0	2	2	11.1	726
要介護 2	0	2	2	11.1	1195
要介護 3	2	4	6	33.3	1967
要介護 4	0	8	8	44.5	2579
要介護 5	0	0	0	0.0	0
計	2	16	18	100	6467
平 均			3.1		

市町別	平成29年度末	年間	
市町名	利用者数	入所数	退所数
まんのう町	18	3	2
計	18	3	2

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院	0	20	1	0	3	0	0	0	0	9	4	4

年齢分布

年 齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男 性	0	1	1	0	0	2	81.5	88	75
女 性	0	0	8	8	0	16	89.3	98	80
計	0	1	9	8	0	18	88.4		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M
人数	0	0	0	3	12	2	1	0

入所平均在所期間

男 性	3年 0月
女 性	4年 2月
全 体	4年 0月

職員研修派遣状況

日 付	研 修 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
6月16日	平成29年度 施設等新任職員研修会	高松		介護職員	佐藤奈央子
6月17日	〃	〃		〃	〃
8月14日	平成29年度 リスクマネジメント研修会	〃		〃	藤本彩
8月22日	四国経営品質協議会 平成29年度第3回定例会	〃		統括課長	岡田力也
9月11日	平成29年度 香川県認知症介護実践研修(実践リーダー)	丸亀		介護主任	旭愛
9月12日	〃	〃		〃	〃
9月13日	〃	〃		〃	〃
9月14日	〃	〃		〃	〃
9月15日	〃	〃		〃	〃
9月26日	平成29年度 香川県認知症介護基礎研修	〃		介護職員	豊田珠見
10月2日	平成29年度 香川県認知症介護実践研修(実践リーダー)	〃		介護主任	旭愛
10月3日	〃	〃		〃	〃
10月4日	〃	〃		〃	〃
10月5日	〃	〃		〃	〃
10月30日	〃	〃		〃	〃
1月22日	香川県委託事業 介護ロボットキャラバン	坂出		介護職員	河原和弘
3月23日	平成29年度 集団指導(地域密着型サービス)	高松		統括課長	岡田力也

施設内研修等（防災訓練を含む）

月 日	研修内容	参加人員	講 師
4月20、27、28日、5月2、4日	医療用酸素取り扱い研修	18	丸山看護職員
5月15、22、23、29、30日	コミュニケーション研修	18	岡田統括課長
5月29、30日、6月9日	認知症研修	18	〃
5月29、30日、6月10日	接遇マナー研修	18	〃
6月19、21、27日、7月14日	食中毒予防研修	18	感染防止対策委員会
7月26～28日、8月2、5、16日	事故防止研修	19	事故防止委員会
8月22、23、25、28、29日	ポジショニング研修	18	ポジショニング委員会
10月26日	火災防災訓練(夜間想定)	10	岡田統括課長
10月26、27日、11月1、7日	結核予防研修	18	感染防止対策委員会
10月27、30日、11月2～4日	苦情対応研修	18	苦情対策委員会
11月1日	シェイクアウト地震行動訓練	11	岡田統括課長
11月25、27、28日、12月1、4日	インフルエンザ予防研修	18	感染防止対策委員会
12月25、27、28日、1月20、28日	ノロウイルス予防研修	17	〃
1月23、29、30日、2月5、7日	個人情報・プライバシー保護研修	19	研修委員会
2月15日	風水害防災訓練(夜間想定)	19	事故防止委員会
2月20、21、26、27日、3月7日	高齢者虐待・身体拘束廃止研修	19	研修委員会
3月29日	火災防災訓練(日中想定)	11	仲多度南部消防署

実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
香川短期大学	6月29日～7月1日	2	3

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	205
在宅(通所・居支・その他)	2
計	207

②発生場所別

場所	件数
居室	48
廊下	6
浴室	12
脱衣室	20
ホール	61
トイレ	31
食堂	0
玄関	0
施設外	2
その他	27
計	207

③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	21
転落	11
誤飲・誤嚥	0
異食	1
服薬管理	3
自傷行為	0
徘徊	1
入所者間トラブル	5
器物損壊	33
皮下出血	95
紛失	2
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	0
職員の介助中の事故	5
私物返し忘れ	0
表皮剥離	25
その他	5
計	207

④発生時間帯別

時間帯	件数
朝	8時～10時 21
	10時～12時 25
昼	12時～14時 24
	14時～16時 30
夕	16時～18時 29
	18時～20時 26
夜間	20時～22時 7
	22時～24時 8
	0時～2時 4
	2時～4時 7
早朝	4時～6時 22
	6時～8時 4
計	207

⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	2
打撲	4
皮下出血	98
すり傷	0
裂傷	1
呼吸困難	0
嘔吐	0
表皮剥離	28
精神不安定	0
外傷等なし	31
利用者の物品管理	9
送迎関係	0
服薬・異常なし	3
その他	31
計	207

⑥発生月別

月別	件数
4月	14
5月	19
6月	14
7月	21
8月	15
9月	15
10月	12
11月	17
12月	26
1月	19
2月	12
3月	23
計	207

⑦保険者への報告

内容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	3
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	0
計	3

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

月別	件数
4月	37
5月	35
6月	41
7月	40
8月	29
9月	40
10月	40
11月	35
12月	37
1月	30
2月	34
3月	27
計	425

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関わる事項	1		0		0	1
②個人の嗜好・選択に関わる事項	0		0		0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0		0		0	0
④制度、施策、法律に関わる要望	0		0		0	0
⑤その他	0		0		0	0
合 計	1		0		0	1

身体拘束の状況

平成29年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	7、11	花見ドライブ、昼食会	18	9	6	5
5	15	夏野菜の植え付け	13	6	0	0
6	12～17	あじさいドライブ(やすらぎ公園)	18	10	0	0
6	15	さつま芋の植え付け	13	8	0	0
7	6、7	七夕祭り	18	11	0	0
7	29	仲南荘 夏祭り	2	0	0	0
8	19	満濃荘 夏のタベ	2	0	0	0
9	8	敬老の日のお茶会	18	12	0	0
9	10	家族会(グループホーム)①	18	0	15	0
10	8	秋祭り	18	2	26	11
10	26	運動会	0	8	0	0
10	30	さつま芋掘り	13	6	0	0
11	15	交通安全教室	4	6	0	0
12	22、25	クリスマス会会食	18	10	0	0
12	25	夢合唱団の発表会	18	7	0	0
12	27	お餅つき	18	7	0	4
1	11	鏡開き	18	8	0	0
1	16、19	初詣	16	0	7	2
2	2、3、5	節分	18	6	0	0
2	5	家族会(デイサービス)	0	3	4	0
3	1、3	ひな祭り	18	7	0	0
3	4	家族会(グループホーム)②	18	0	16	0

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	手打ちうどん	毎月第1月曜日	18	野菊の会	満濃荘の手打ちうどん
	手打ちうどん	毎月第2金曜日	18	葉ぼたんの会	
	手品、歌、踊りの披露	隔月	10	なかよし会	
	おばあちゃんのごはん	毎月第3金曜日	18		ご利用者主体の食事作り
通所	生け花	隔月	13		
	誕生日会	誕生日月	7		
	手品、歌、踊りの披露	隔月	7	なかよし会	
	手打ちうどん	毎月第1月曜日	7	野菊の会	満濃荘の手打ちうどん
	手打ちうどん	毎月第2金曜日	5	葉ぼたんの会	
	手作り作品	毎月	13		
	手作りおやつ	毎月	13		

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
5	26	第1回運営推進会議	0	0		9
6	30	高篠小学校児童との交流会①	18	3	高篠小学校5年生	34
7	28	第2回運営推進会議	0	0		9
9	3	介護教室	0	0	高篠地区の住民	35
9	26	高篠こども園園児との交流会	18	7	高篠こども園園児	21
9	29	第3回運営推進会議	0	0		9
11	5	高篠公民館ふれあい祭り	8	0	高篠ふれあいセンターへ参加	0
11	10	高篠小学校児童との交流会②	18	6	高篠小学校5年生	34
11	24	第4回運営推進会議	0	0		9
1	26	第5回運営推進会議	0	0		10
2	6	本の読み聴かせ	7	8	ポピー	6
3	25	愛のチャリティーカラオケ大会	4	0	ミュージックステーションNo.1	0
3	26	げんき会の訪問	14	7	げんき会	8
3	30	第6回運営推進会議	0	0		10

カフェ・お茶会

月	日	種類	内容	参加人数	ボランティア数
2	25	およりさんカフェ	認知症カフェに準ずる	7	0

(2) 通所介護事業

デイサービスセンターよりあい

定員が 10 名の小規模事業所の強みを活かし、大勢の人のいる環境に馴染みにくいご利用者に対して、家事作業や農作業を中心とした生活リハビリと一人ひとりに合わせた対応で、少しずつ時間をかけながら安心して過ごしていただける環境を作っていくことができました。職員が働きかけることで、ご利用者が互いを認め合い、思いやることのできる人間関係も少しずつ築くことができています。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・認知症の症状が強いご利用者も増えていく中で、どのように対応すればよいのかを模索することもありました。しかし、職員が根気強くご利用者に寄り添うことを心がけることで少しずつ変化を感じることもできました。また、ご家族にも安心していただけたことで、職員のやりがいにもつながりました。
- ・ご利用者の状態の変化や何か気がついたり疑問に感じたことがあれば、ご家族や担当のケアマネジャーに連絡をしました。そのまま病院受診につながった方もおられました。今後も職員がご利用者の様子をよく観察し、チームで情報を共有しながら早期の対応ができるようにしていきます。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・ご利用者が昔から慣れ親しんだ家事作業や農作業を行うことで、自信を持ちながら継続できるように、職員が声をかけながら歩調を合わせて一緒に行いました。
- ・安心して心地よい姿勢保持ができるように、椅子への座り替えや座布団、クッション、足置き台の使用に工夫をしました。またしっかりと自立歩行が継続できるように、ご利用者が楽しみながらできる足踏み体操を毎日実施しました。新しい職員には、「持ち上げない」「引きずらない」「抱え上げない」介助の仕方を現場で実践しながら伝えていきました。

3. 地域社会との関係を活かしたサービスの提供

- ・2 か月に 1 度の運営推進会議の中で、デイサービスの様子についてスライドを使用するなどして報告しました。現場の職員がこの会に出席し、ご家族や地域の方々から感想やアドバイスを頂けたことで、評価を受けた自分たちの取り組みの大切さを再認識することができました。
- ・デイサービスの定休日である毎月第 3 土曜日にデイルームを開放して、認知症カフェ「まんまんカフェおよりさん」を開催しました。地域の方々に気持ち良く訪れていただけるように、季節の花を活けるなど環境を整えました。回数を重ねる度に地域の顔馴染みの方も増え、連れ立って参加される方もおられました。認知症に関する質問はありますが、認知症の相談事でまんのう町と連携するところまでには至っておりません。

4. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・毎朝のミーティングと毎月の会議の中で、職員が気になったことはどのような事でも意見を出して話し合い、情報の共有を徹底しました。会議録には毎月のご利用者の特記事項を記録するようにして、職員が再確認できるようにしました。そうすることで取り組む課題が明確になり、職員がご利用者の変化についての気づきや理解が深まり、成果を実感することができました。
- ・会議の中で業務管理評価シートを使った各自の目標の確認はできませんでしたが、ご利用者に落ち着いた環境で過ごしていただくための検討を繰り返して行ったことは、チームワークの醸成と個別の目標達成の成果につながっています。

地域密着型通所介護事業実績

※平成29年10月より営業日が月～金曜に変更 定員10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	16	19	17	17	19	16	22	22	21	23	20	22	234
利用実人員	12	11	11	11	11	11	14	14	13	13	15	13	149
利用延人数	109	124	114	115	126	103	136	153	139	137	122	127	1505
利用率 (月～木曜)	68.1	65.3	67.1	67.6	66.3	64.4							66.5
利用率 (月～金曜)							61.8	69.5	66.2	59.6	61.0	57.7	62.6

介護度別利用状況

介護度	29年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0.0%
要支援2	0	0	0.0%
要介護1	3	400	26.6%
要介護2	6	677	45.0%
要介護3	3	258	17.1%
要介護4	1	170	11.3%
要介護5	0	0	0.0%
合計	13	1505	100%

認知症対応型通所介護事業実績

※平成29年9月末をもって事業廃止 定員12名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	4	4	5	4	4	5							26
利用実人員	1	1	3	3	2	2							12
利用延人数	4	4	9	7	8	10							42
利用率 (金曜)	8.3	8.3	15.0	14.6	16.7	16.7							13.3

介護度別利用状況

介護度	29年9月末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0.0%
要支援2	0	0	0.0%
要介護1	1	26	61.9%
要介護2	0	1	2.4%
要介護3	0	0	0.0%
要介護4	1	15	35.7%
要介護5	0	0	0.0%
合計	2	42	100%

VI. デイサービスセンター

おひいさん

(1) 通所介護事業

デイサービスセンターおひいさん

制度改正により地域密着型通所介護施設へ移行しました。個々のご利用者へのサービス内容に大きな変化はありませんが、善通寺市内の方の利用が中心になり、より地域性のある施設になりつつあります。平成29年度より開始された善通寺市の医療介護連携会議に参加し、ご利用者へのサービス内容の充実に向け取り組みました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご利用日の状況や健康状態は毎回連絡帳にてお伝えしました。また、重要な事項や緊急を要することは、ご家族の都合などにも配慮した連絡手段にてお伝えしました。ご利用者アンケートでも、細やかな報告に対して安心して利用できるという意見もいただきました。
- ・自宅に近い環境のおひいさんで、ご自分のやりたいと思えることをして過ごすことで、引きこもりがちな方にも進んで利用していただけるようになりました。
- ・洗濯干し、たたみ作業や調理野菜の下ごしらえ、ジャムやジュースづくり、家庭菜園での栽培や収穫に主体的に関わっていただく事で、個々の役割の機会が増え生き生きとした表情が多く見られるようになりました。今後も残存機能の維持継続を考慮した支援を継続していきます。
- ・定期的に季節の味覚を味わう会を行い、ハレの日や季節を意識して楽しみを持ってデイサービスをご利用頂きました。
- ・11月25日に家族会を実施し、1年間の状況の報告をしました。また、ご家族との意見交換で貴重なご意見をいただくことができました。
- ・3月に今年度の広報誌を発行し、ご利用状況をご紹介しました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・ご利用者の生活状況について、変化があれば担当ケアマネジャーやご家族と情報の共有を図り、連携して対応することが出来ました。連絡手段も電話・fax・電子メールなど、ご家族やご本人様の生活様式にも考慮して対応することで、可能な限り迅速に確実に連絡することで、満足度の向上と合わせて業務の効率化も進められました。
- ・ご利用中の体調急変時は勤務職員協力しあい、円滑な緊急対応を実施しました。実施後の課題も整理し、対応力向上を図っていきます。

3. 地域社会との関係を活かしたサービスの提供

- ・引き続きお茶会を実施しました。毎回参加して下さる方を中心に、新規の方もご紹介下さいました。
- ・近隣の児童施設 NPO 法人子育てネットくすくすの児童デイサービスの定期訪問もあり子供達との交流を通じて相互に刺激ある楽しい時間が持てました。
- ・運営推進会議も2年目となり、次第に意見交換の内容が充実してきました。1時間では収まりきらず、次回より時間を増やしてはどうかというご意見も伺いました。

- ・ボランティア参加の「抹茶の会」も定着し、ご利用者も戸惑いながらも、地域の方々のお点前を見ながら、おいしく頂き季節を感じる賑やかな時間を持つことができました。
- また、ボランティアの方々にも日常のおひいさんをご覧いただける良い機会となり参加者を通して地域におひいさんの事業のご紹介もして下さっています。

4. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・ご利用者の個別の課題や日々共有したい連絡事項について申し継ぎノートを活用しチームとしての対応を大切にしました。
- ・ご利用して下さる方により良いサービスが出来るように問題意識を持ち、気軽に話し合える時間を大切にしています。特に朝のミーディングでは短時間だが出来るだけ課題を掘り下げ職員からの意見が多く出るように意識し、すぐできる事は速やかな対応をしました。

地域密着型通所介護事業実績

定員・・・月～金曜 10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	20	23	22	21	23	21	22	22	20	20	20	22	256
利用実人員	16	18	19	19	16	16	17	15	18	19	19	21	213
利用延人数	125	147	153	126	123	115	128	122	142	149	138	158	1626
利用率 (月～金曜)	62.5	63.9	69.5	60.0	53.5	54.8	58.2	55.5	71.0	74.5	69.0	71.8	63.7

介護度別利用状況

介護度	29年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	5	200	12.3%
要支援2	8	321	19.7%
要介護1	5	554	34.1%
要介護2	1	179	11.0%
要介護3	1	160	9.9%
要介護4	1	212	13.0%
要介護5	0	0	0.0%
合計	21	1626	100%

デイサービス年間行事等実績

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数	家族等	ボランティア
4	4～5	桜のお花見食事会(野外食:手作りお花見弁当)※桜の開花に合わせ、前年度行事	24	0	0
5	3～4	新緑野外おやつ会(抹茶の会 野点)	17	0	0
5	31	旬の味覚を味わう会(手作りおやつ:梅ジュース作り)	2	0	0
5/30～6/15		夏の野菜・花植え(5日間。野菜・花苗植え付け、支柱たて)	39	0	0
7	4～7	七夕(七夕飾りつけ、行事食・おやつ)	32	0	0
7	14、26	旬の味覚を味わう会(手作りおやつ:ブラックベリージャム作り)	16	0	0
7	24	旬の味覚を味わう会(手作りおやつ:シソジュース作り)	8	0	0
7/31～8/3		旬の味覚を味わう会(手作りおやつ:ゴーヤパナナジュース作り)	26	0	0
8	30	旬の味覚を味わう会(手作りおやつ:イチジクジャム作り)	6	0	0
9	18～20	敬老会(行事食、手作りカードプレゼント)	26	0	0
9	20	お彼岸(手作りおやつ:おはぎ作り)	6	0	0
10	18～19	秋の味覚を味わう会(さんま炭焼き・焼き芋)※天候不良のため、室内で実施	25	0	0
11	1～2	手作りおやつ:イチゴミルクゼリー	10	0	0
11	15	手作りおやつ:ブラックベリージャム作り	8	0	0
11	25	家族会(御本人:1人、御家族:3人)	4	3	0
11月～2月		冬の味覚を味わう会(鍋料理11/15,2/27 正月料理1/4)	32	0	0
12	20～26	クリスマス・忘年会(鍋料理、ケーキ、手作りカードプレゼント)	56	0	0
12	25～26	春の花植え(花苗・球根植え付け・種まき)	18	0	0
1	9～10	絵馬づくり	15	0	0
1	11～12、17	鏡開き(手作りおやつ:ぜんざい)	29	0	0
2	1～2	節分(豆まき、行事食 イワシ料理)	22	0	0
3	1～2	ひな祭り(行事食・おやつ ちらし寿司 ひなあられ 甘酒)	21	0	0
3	21	お彼岸(手作りおやつ:ぼたもち作り)	9	0	0
3	28～30	桜のお花見食事会(野外食:手作りお花見弁当)	37	0	0

レクリエーションメニュー(月間・週間・毎日)

内 容	実施日	備考(詳細)
体操・口腔体操・リズム体操	毎日	
創作活動	ご利用者の希望に応じて毎日	スケッチ・切り絵・塗り絵・折り紙・貼り絵 など
運動レクリエーション	〃	風船バレー、ボーリング など
脳トレーニング	〃	計算・間違探し・ジグソーパズル・日記・ゲームなど
歌謡曲・落語・漫談・浪花節	〃	リクエストにより視聴
調理補助 昼食の下ごしらえ	ご利用者に応じて 随時	収穫野菜のそうじ、いりこ袋詰め など
洗濯干し・たたみ	〃	
庭で植物栽培、散歩、花生け	4月～10月ご利用者に応じて 随時	花・野菜の植付け、手入れ、収穫、花摘み、花生け、散歩、休憩(お茶)
お誕生日のお祝い	ご利用者のお誕生日前後の利用日	手作り誕生日カードのプレゼント

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

通所	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
	抹茶の会	4/11 6/20 8/24 10/16 14:30~15:30	14人	近隣地域ボランティア (お茶会参加者より)	抹茶と季節のお菓子を提供

地域との交流

月	日	内 容	参加人数	交流者名	人数
4	20	児童デイサービスの子供達との交流	8	NPO法人 子育てネットくすくす	7
5	23	〃	11	〃	8
6	27	〃	12	〃	〃
10	6	獅子舞の訪問	10	近隣住民の方々	10
10	25	第1回おひいさん運営推進会議	3	包括支援センター 自治会長 民生委員 利用者家族代表	4
12	21	児童デイサービスの子供達との交流	10	NPO法人 子育てネットくすくす	4
2	15	〃	13	〃	11
3	13	第2回おひいさん運営推進会議	3	包括支援センター 自治会長 民生委員 利用者家族代表	4
3	15	児童デイサービスの子供達との交流	11	NPO法人 子育てネットくすくす	9

カフェ・お茶会

月	日	種類	内容	参加人数	ボランティア数
5	27	お茶会	近隣地域の方々のサロン。14:00~15:00 無料 介護のお困りごとやご要望をお聞きし、情報提供する場。	9	0
7	29	〃	〃	8	0
9	30	〃	〃	8	0
11	25	〃	〃	8	0
3	31	〃	〃	7	0

職員研修派遣状況

日 付	研 修 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
6月17日	福祉機器展・セミナー		高知	主任補佐	里見昌子
1月18日	口腔ケア・オーラルフレイル	善通寺市		主任補佐	里見昌子
3月7日	在宅医療介護連携研修	善通寺市		管理者	高田雅史
3月23日	介護保険事業所 集団指導	高松市		管理者	高田雅史

施設内研修等（防災訓練を含む）

月 日	研修内容	参加人員	講 師
4月13日	摂食・嚥下研修	3	安藤
5月15日	防災訓練（火災想定）	4	高田
6月13日	感染症予防研修	5	高田
7月24日	認知症研修	3	高田
9月11日	身体拘束、高齢者虐待	4	高田
10月16日	事故防止研修	4	高田
11月1日	防災訓練 シェイクアウト（地震対応）	3	高田
11月29日	交通安全講習	3	交通安全協会
2月12日	防災訓練（火災）	4	高田
3月14日	個人情報・プライバシー研修	4	高田

実習等受け入れ状況

実習者名（団体名）	期間	実人員	延日数
藤田医院 初任者研修 施設見学	8月23日	7	1
松寿荘の交換研修生 見学（満濃荘より）	11月15日	2	1
お仕事体験（くすくすキッズ）	11月23日	2	1
藤田医院 初任者研修 施設見学	2月22日	10	1

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

事業	件数
在宅(通所・居支・その他)	10
計	10

②発生場所別

場所	件数
居室	1
廊下	0
浴室	1
脱衣室	1
ホール	3
トイレ	1
食堂	0
玄関	0
施設外	0
その他	3
計	10

③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	3
転落	0
誤飲・誤嚥	0
異食	0
服薬管理	0
自傷行為	0
徘徊	0
入所者間トラブル	0
器物損壊	0
皮下出血	1
紛失	0
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	0
職員の介助中の事故	1
私物返し忘れ	4
表皮剥離	0
その他	1
計	10

④発生時間帯別

時間帯	件数
朝	8時 ～ 10時 3
	10時 ～ 12時 4
昼	12時 ～ 14時 2
	14時 ～ 16時 1
夕	16時 ～ 18時 0
	18時 ～ 20時 0
夜間	20時 ～ 22時 0
	22時 ～ 24時 0
	0時 ～ 2時 0
	2時 ～ 4時 0
早朝	4時 ～ 6時 0
	6時 ～ 8時 0
計	10

⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	0
打撲	2
皮下出血	1
すり傷	0
裂傷	0
呼吸困難	0
嘔吐	0
表皮剥離	0
精神不安定	0
外傷等なし	2
利用者の物品管理	4
送迎関係	0
服薬・異常なし	0
その他	1
計	10

⑥発生月別

月 別	件数
4月	2
5月	3
6月	2
7月	0
8月	0
9月	1
10月	0
11月	0
12月	1
1月	1
2月	0
3月	0
計	10

⑦保険者への報告

内 容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	0
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	0
計	0

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

月 別	件数
4月	5
5月	8
6月	5
7月	6
8月	8
9月	4
10月	8
11月	7
12月	10
1月	5
2月	9
3月	5
計	80

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関わる事項			0		0	0
②個人の嗜好・選択に関わる事項			0		0	0
③財産管理、遺産、遺言等			0		0	0
④制度、施策、法律に関わる要望			0		0	0
⑤その他			1		0	1
合 計			1		0	1

身体拘束の状況

平成29年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。